

**令和4年度「アフターコロナ」を見据えた
野菜・果物の消費動向調査結果
(消費者)**

令和5年4月

農林水産省

目次

■ 調査概要	3	■ 調査結果の詳細（果物）	23
■ 基本属性	4	■ 果物の購入・摂取頻度	24
■ 性別・年代別、都道府県別、地域ブロック別、職業別	5	■ 果物を摂取する形態	25
■ 調査結果の詳細（野菜）	9	■ よく食べる果物の種類	26
■ 野菜を食べる頻度	10	■ 果物を食べる理由	27
■ 野菜を摂取する形態	11	■ 新型コロナウイルス感染拡大による果物を食べる頻度の変化	29
■ よく食べる野菜の種類	12	■ 果物の摂取量が増えた理由	30
■ 野菜を食べる理由	13	■ 摂取が増えた果物の種類	31
■ 新型コロナウイルス感染拡大による野菜を食べる頻度の変化	15	■ 摂取が増えた果物の形態	32
■ 野菜の摂取量が増えた理由	16	■ 果物の摂取量が減った理由	33
■ 摂取が増えた野菜の種類	17	■ 摂取が減った果物の種類	34
■ 摂取が増えた野菜の形態	18	■ 摂取が減った果物の形態	35
■ 野菜の摂取量が減った理由	19	■ 果物に関する産地や小売業者等への要望・意見	36
■ 摂取が減った野菜の種類	20		
■ 摂取が減った野菜の形態	21		
■ 野菜に関する産地や小売業者等への要望・意見	22		

調査概要

■ 調査目的

- 野菜・果物の1人1日当たりの平均摂取量（令和元年）は野菜280.5g、果物100.2gで、「健康日本21（第二次）」（厚生労働省策定）等で目標とする野菜350g、果物200gにいずれも達しておらず、1人当たりの野菜・果物の摂取量の増加が課題となっている。
- 本調査は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による野菜・果物の需要の変化を把握し、家庭需要の伸びている品目等について産地へ情報提供するとともに、国産野菜・果物の消費拡大施策の検討のための基礎資料とすることを目的とする。

■ 調査方法

- インターネット（オンライン）によるアンケート調査

■ 調査対象

- 消費者：2,098名（全国20歳以上の男女）
なお、アンケートの回収に当たっては、回答者の性別、年代別の割合が統計局人口推計「2022年11月1日現在（概算値）」に準ずるように割付を行った。

■ 調査日程

- 2022年12月15日～2022年12月20日

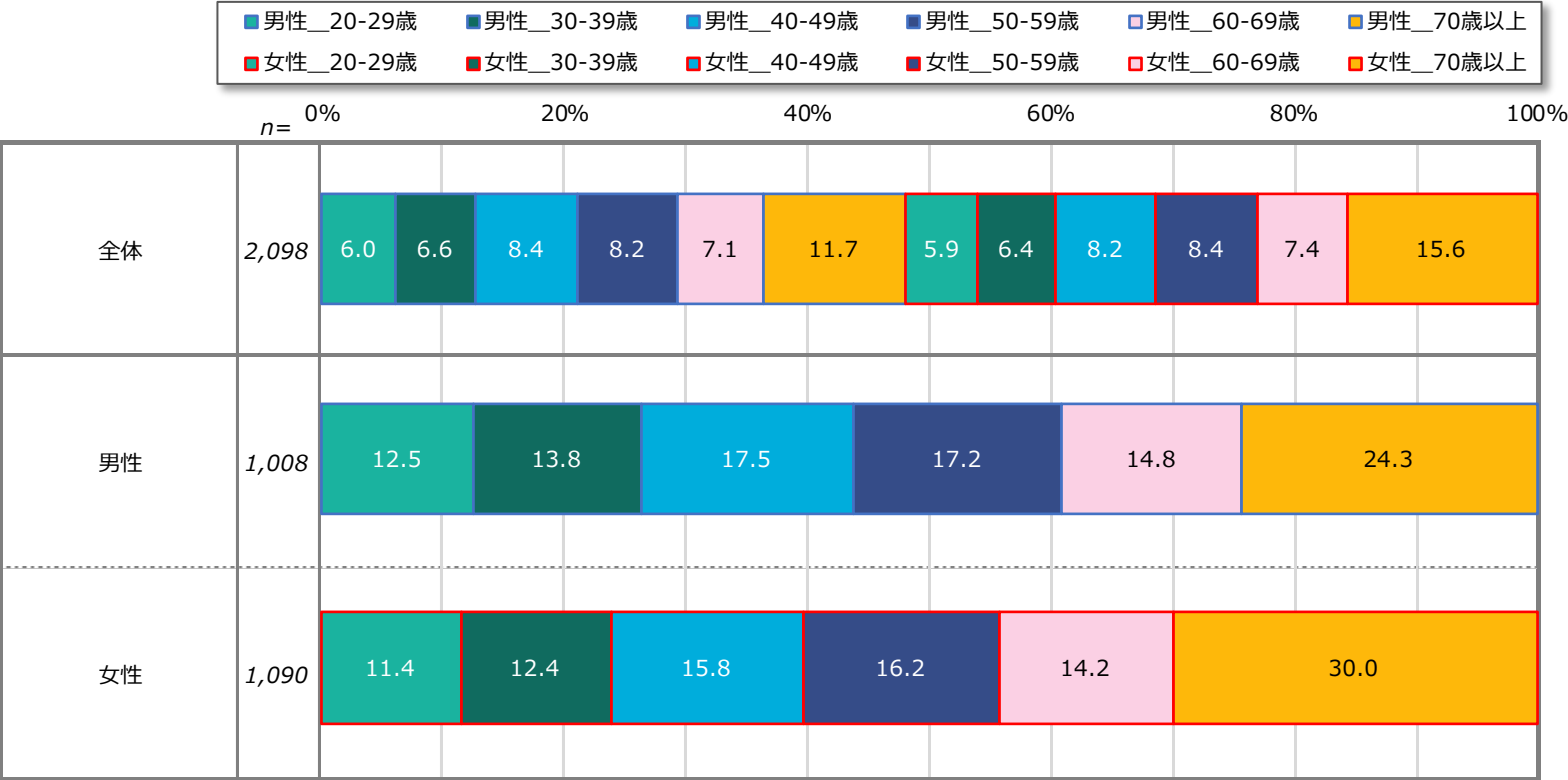
■ 調査委託先

- 株式会社イード iid

基本属性

SQ1. 性別・年代別の割合

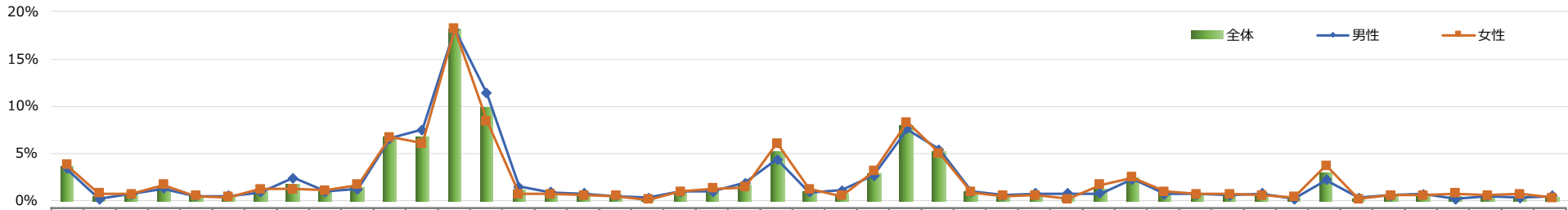
■ 性別、年代別の割合は、統計局人口推計「2022年11月1日現在（概算値）」に準ずるように割付を行い、以下の通りとなっている。



SQ1.あなたの性別と年齢を教えてください。

SQ2-1. 都道府県別の割合

■ 都道府県別の割合は以下の通りとなっている。



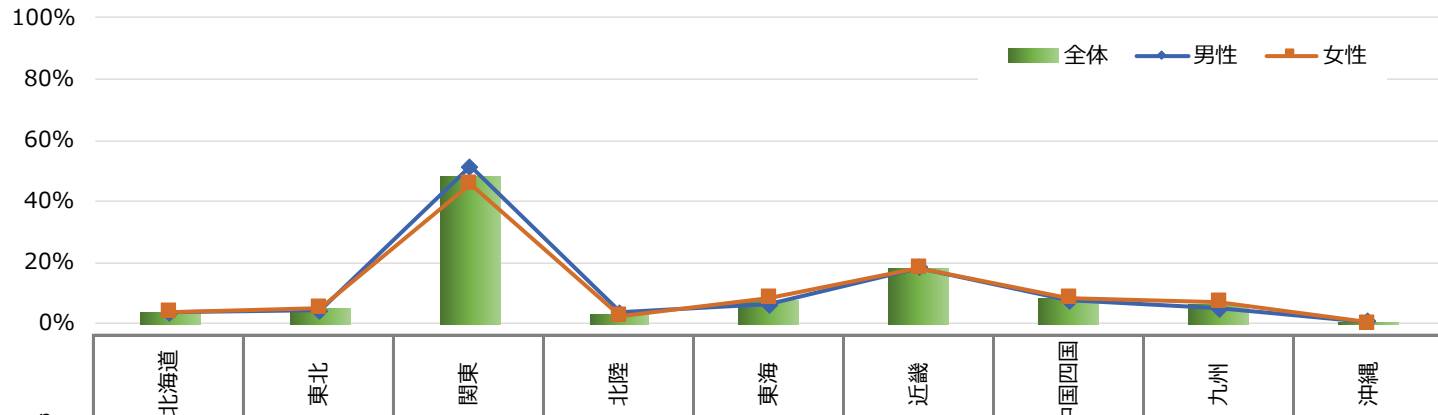
	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
全体	2,098	3.6	0.5	0.7	1.5	0.5	0.4	1.0	1.8	1.0	1.4	6.7	6.8	18.1	9.9	1.1	0.8	0.7	0.5	0.2	1.0	1.1	1.6	5.2	1.0	0.8	2.9	8.0	5.2	1.0	0.5	0.7	0.5	1.3	2.4	0.9	0.7	0.7	0.7	0.3	3.0	0.2	0.6	0.7	0.5	0.6	0.5	0.4
男性	1,008	3.4	0.2	0.7	1.3	0.5	0.5	0.9	2.4	1.0	1.2	6.6	7.5	18.1	11.4	1.5	0.9	0.8	0.5	0.3	1.0	1.0	1.9	4.4	0.9	1.1	2.7	7.6	5.4	1.0	0.6	0.8	0.8	0.8	2.3	0.7	0.7	0.6	0.8	0.2	2.2	0.3	0.6	0.7	0.2	0.5	0.3	0.5
女性	1,090	3.8	0.8	0.7	1.7	0.5	0.4	1.2	1.2	1.1	1.7	6.7	6.1	18.2	8.4	0.7	0.7	0.6	0.5	0.1	1.0	1.3	1.4	6.1	1.2	0.5	3.1	8.3	5.0	0.9	0.5	0.6	0.2	1.7	2.5	1.0	0.7	0.7	0.6	0.4	3.7	0.2	0.6	0.6	0.8	0.6	0.7	0.3
男性 20-29歳	126	0.8	-	1.6	2.4	-	-	0.8	4.0	1.6	2.4	3.2	4.0	19.0	11.9	2.4	2.4	-	0.8	-	-	2.4	2.4	1.6	0.8	1.6	7.1	6.3	1.6	-	0.8	1.6	0.8	3.2	2.4	0.8	1.6	-	-	1.6	-	1.6	0.8	0.8	0.8	1.6		
男性 30-39歳	139	2.2	-	1.4	-	1.4	1.4	2.9	1.4	0.7	5.0	7.2	16.5	8.6	2.9	0.7	1.4	0.7	-	1.4	0.7	2.2	2.2	0.7	-	3.6	6.5	4.3	-	0.7	2.9	3.6	-	1.4	0.7	1.4	-	1.4	-	1.4	-	3.6	1.4	1.4	0.7	0.7		
男性 40-49歳	176	2.8	0.6	1.1	2.3	-	0.6	1.1	2.3	0.6	1.1	5.1	8.5	20.5	10.2	1.1	1.1	1.1	-	0.6	0.6	1.7	1.1	3.4	-	0.6	3.4	9.7	6.3	0.6	1.1	1.1	0.6	1.7	2.3	-	0.6	0.6	-	1.1	0.6	-	0.6	0.6	-	-	1.1	
男性 50-59歳	173	4.6	-	-	1.7	0.6	-	1.2	0.6	0.6	9.8	8.1	19.7	10.4	0.6	-	0.6	0.6	0.6	2.9	1.2	1.2	6.9	0.6	1.2	2.9	6.9	4.6	1.7	0.6	0.6	-	0.6	1.7	-	-	0.6	-	-	3.5	-	0.6	0.6	-	0.6	0.6		
男性 60-69歳	149	5.4	-	-	0.7	1.3	1.3	1.3	2.7	0.7	1.3	7.4	5.4	19.5	11.4	1.3	1.3	0.7	0.7	-	0.7	2.0	2.7	6.7	2.0	2.0	0.7	7.4	2.7	0.7	0.7	-	-	0.7	2.7	-	-	0.7	2.0	-	1.3	0.7	-	0.7	-	0.7		
男性 70歳以上	245	3.7	0.4	0.4	0.8	-	-	2.4	1.2	1.2	7.8	9.8	14.7	14.3	1.2	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	2.0	4.1	0.8	1.6	3.3	7.8	6.9	1.2	0.4	-	-	0.8	2.4	1.2	1.2	0.4	1.2	-	2.4	-	-	0.8	-	0.8	-	0.4	
女性 20-29歳	124	1.6	0.8	1.6	0.8	-	0.8	1.6	0.8	1.6	2.4	2.4	7.3	20.2	6.5	1.6	2.4	-	-	-	0.8	0.8	0.8	13.7	-	-	3.2	7.3	4.8	1.6	0.8	-	-	1.5	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	2.2	-	0.7	0.7	1.5	1.5	0.7
女性 30-39歳	135	3.0	1.5	-	2.2	0.7	-	2.2	-	0.7	2.2	8.9	6.7	18.5	5.9	0.7	-	-	-	-	2.2	1.5	0.7	6.7	-	0.7	4.4	9.6	3.0	0.7	-	-	-	1.5	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	2.2	-	0.7	0.7	1.5	1.5	0.7
女性 40-49歳	172	4.1	-	-	1.2	-	1.2	2.3	2.9	1.2	1.7	5.2	4.1	15.7	9.3	0.6	-	1.2	-	-	-	2.3	2.3	4.1	1.7	0.6	2.3	7.6	5.2	1.2	-	0.6	2.9	4.7	1.2	1.2	1.2	0.6	-	5.2	-	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6		
女性 50-59歳	177	4.0	-	0.6	1.7	1.1	-	0.6	1.1	6.2	6.2	26.6	5.6	1.7	0.6	-	0.6	-	1.1	-	0.6	1.1	2.3	5.6	-	2.8	7.9	6.8	2.3	0.6	0.6	0.6	1.1	1.7	0.6	-	1.1	-	-	4.5	-	0.6	-	0.6	-	1.1		
女性 60-69歳	155	5.2	2.6	0.6	1.9	1.3	-	0.6	-	1.3	1.3	9.0	8.4	16.8	5.2	-	1.3	0.6	1.3	-	1.9	-	5.2	1.9	-	3.9	9.7	5.2	-	0.6	0.6	-	-	1.9	-	0.6	-	1.3	1.3	3.9	-	0.6	-	1.3	0.6			
女性 70歳以上	327	4.0	0.6	1.2	1.8	-	0.3	0.6	2.1	1.2	1.5	7.3	5.2	14.7	12.8	0.3	0.6	0.9	0.3	0.3	0.9	1.5	0.9	4.6	2.1	0.9	2.8	8.0	4.9	0.3	0.6	1.2	-	2.8	1.2	1.2	0.9	0.6	0.6	0.3	3.1	0.3	0.6	1.2	0.9	0.6	0.9	

SQ2.あなたがお住まいの都道府県を教えてください。

※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

SQ2-2. 地域ブロック別の割合

■ 地域ブロック別の割合は以下の通りとなっている。



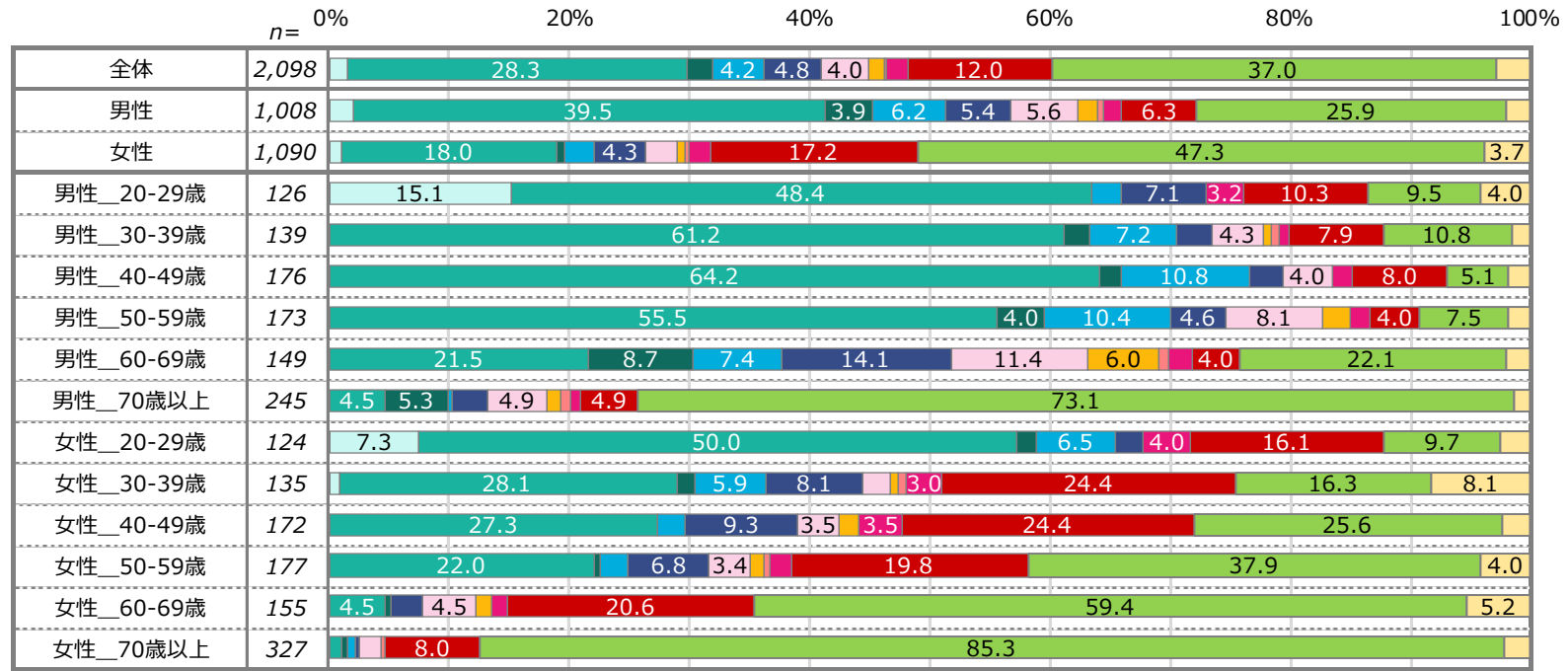
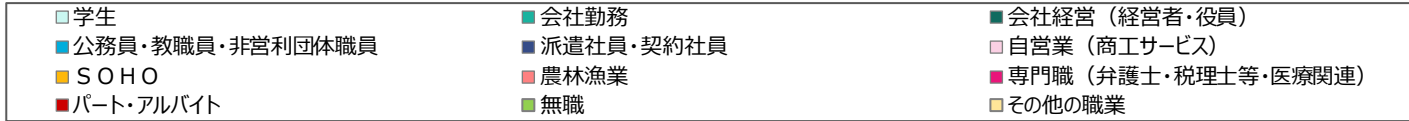
n=		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国四国	九州	沖縄
全体	2,098	3.6	4.7	48.5	3.1	7.4	18.3	8.0	6.1	0.4
男性	1,008	3.4	4.1	51.4	3.7	6.3	18.4	7.6	4.8	0.5
女性	1,090	3.8	5.2	45.8	2.5	8.5	18.3	8.3	7.3	0.3
男性 20-29歳	126	0.8	4.8	48.4	5.6	4.0	17.5	11.1	6.3	1.6
男性 30-39歳	139	2.2	5.8	46.0	5.8	3.6	15.1	11.5	9.4	0.7
男性 40-49歳	176	2.8	5.7	50.6	3.4	5.1	21.6	8.0	1.7	1.1
男性 50-59歳	173	4.6	3.5	54.3	1.7	8.7	17.9	3.5	5.8	-
男性 60-69歳	149	5.4	4.7	51.7	4.0	10.7	14.1	6.0	3.4	-
男性 70歳以上	245	3.7	1.6	54.3	2.9	5.3	21.2	7.3	3.7	-
女性 20-29歳	124	1.6	5.6	42.7	4.0	14.5	17.7	7.3	5.6	0.8
女性 30-39歳	135	3.0	6.7	45.9	0.7	8.1	18.5	8.9	7.4	0.7
女性 40-49歳	172	4.1	4.7	42.4	1.7	8.1	16.9	12.8	8.7	0.6
女性 50-59歳	177	4.0	4.0	49.2	3.4	6.8	20.3	5.6	6.8	-
女性 60-69歳	155	5.2	7.1	45.2	3.2	7.1	19.4	5.8	7.1	-
女性 70歳以上	327	4.0	4.6	47.1	2.1	8.3	17.4	8.9	7.6	-

SQ2.あなたが住まいの都道府県を教えてください。

※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

SQ3. 職業別の割合

■ 職業別の割合は以下の通りとなっている。



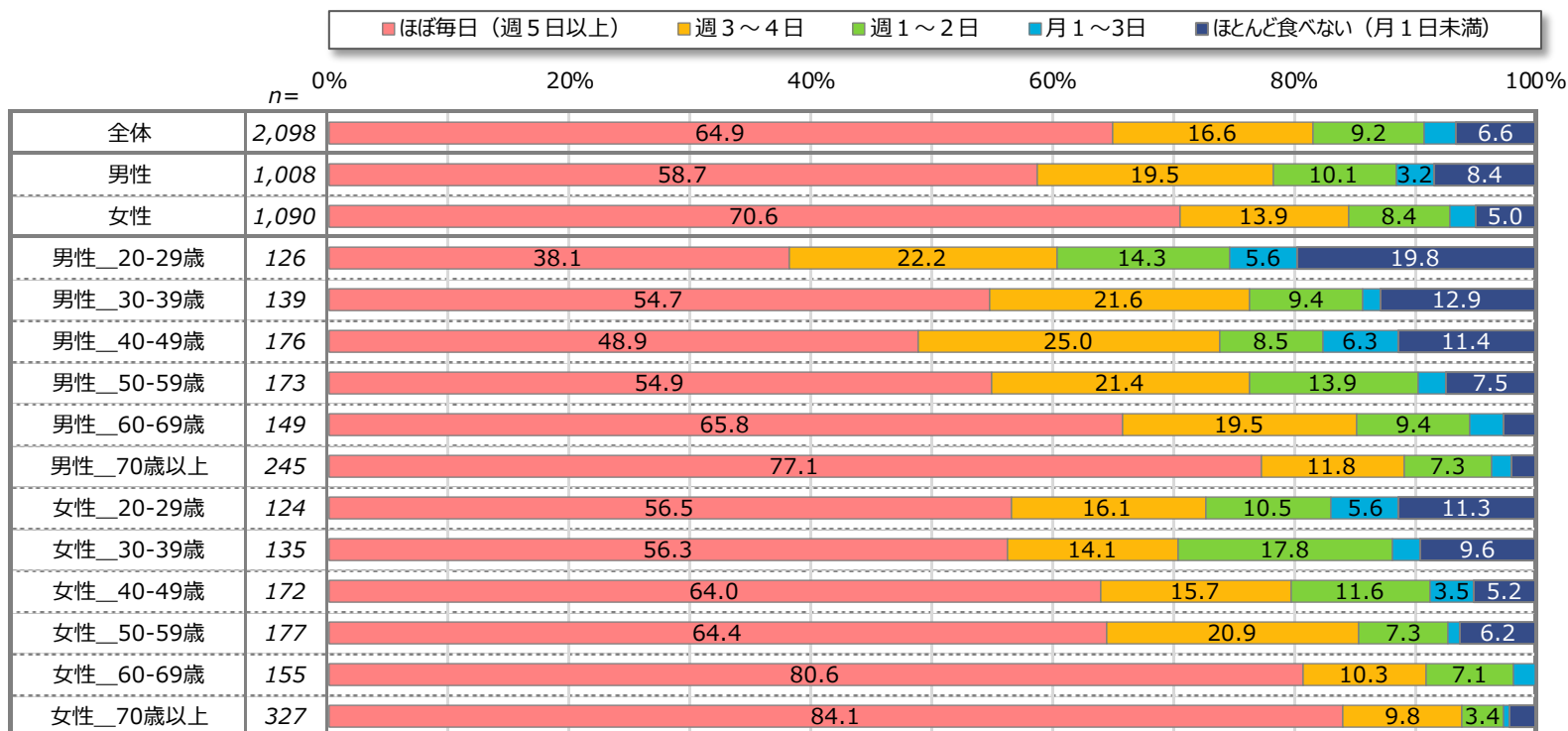
SQ3.あなたの職業を教えてください。

※3.0未満のデータは非表示

調査結果の詳細（野菜）

Q1. 野菜を食べる頻度

- 野菜を食べる頻度は、全体で約65%が「ほぼ毎日」食べており、「週に1回以上」で9割以上を占めている。
- 性・年代別では、男性より女性で「ほぼ毎日」食べている比率が高く、総じて年代が高くなるほど「ほぼ毎日」食べている比率が高くなっている。
- 男性20代で「ほとんど食べない（月1日未満）」の割合が目立つ。

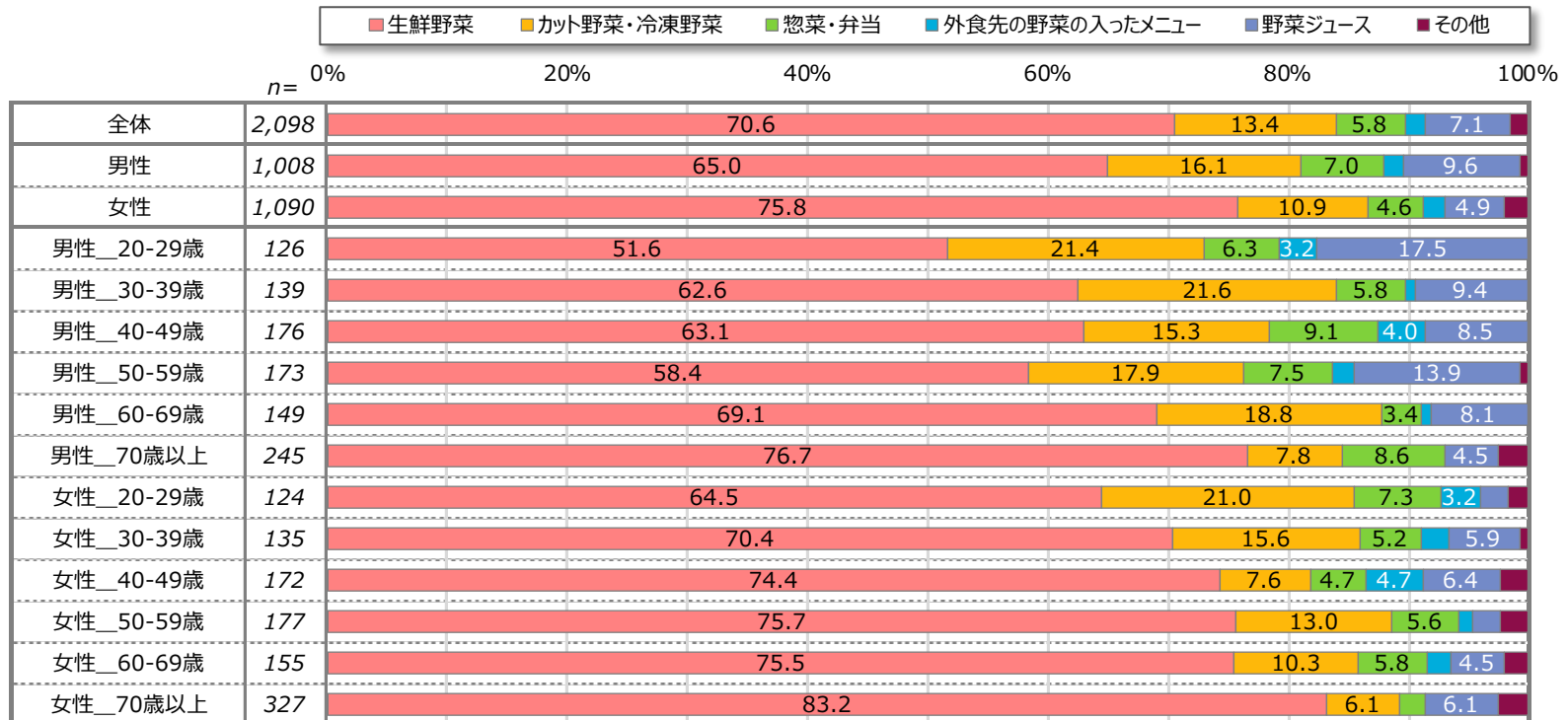


Q1.あなたは野菜（野菜を使った料理、生野菜・サラダ、野菜ジュースなど）をどの程度の頻度で食べますか。

※3.0未満のデータは非表示

Q2. 野菜を摂取する形態

- 野菜の摂取形態は、全体で「生鮮野菜」が約7割を占め最も多く、次いで「カット野菜・冷凍野菜」（13%）、「野菜ジュース」（7%）の順となっている。
- 性・年代別では、男性より女性で「生鮮野菜」比率が高く、総じて年代が高くなるほど「生鮮野菜」比率が高くなっている。
- 男性20代、50代で「野菜ジュース」比率の高さが目立つ。

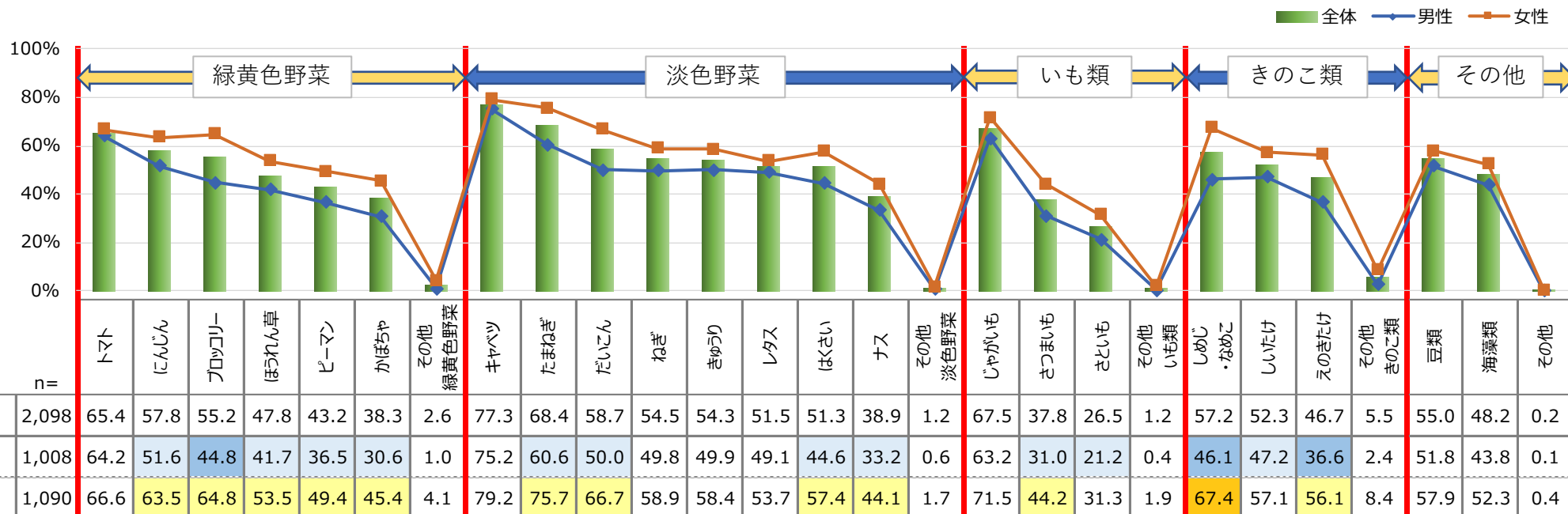


Q2.現在、野菜（野菜を使った料理、生野菜・サラダ、野菜ジュースなど）は主にどのような形態で摂取されていますか。次のうち、最も多い割合のものを一つ選んで下さい。

※3.0未満のデータは非表示

Q3. よく食べる野菜の種類（複数回答）

- よく食べる野菜は、全体で「キャベツ」が8割弱を占め最も多く、次いで「たまねぎ」（68%）、「じゃがいも」（約68%）、「トマト」（65%）、「だいこん」（58%）などが上位に挙げられた。
- 性・年代別では、全体的に男性より女性は食べる野菜の種類が多く、特に「しめじ・なめこ」「えのきだけ」などのきのこ類や「ブロッコリー」では約2割の差がみられる。

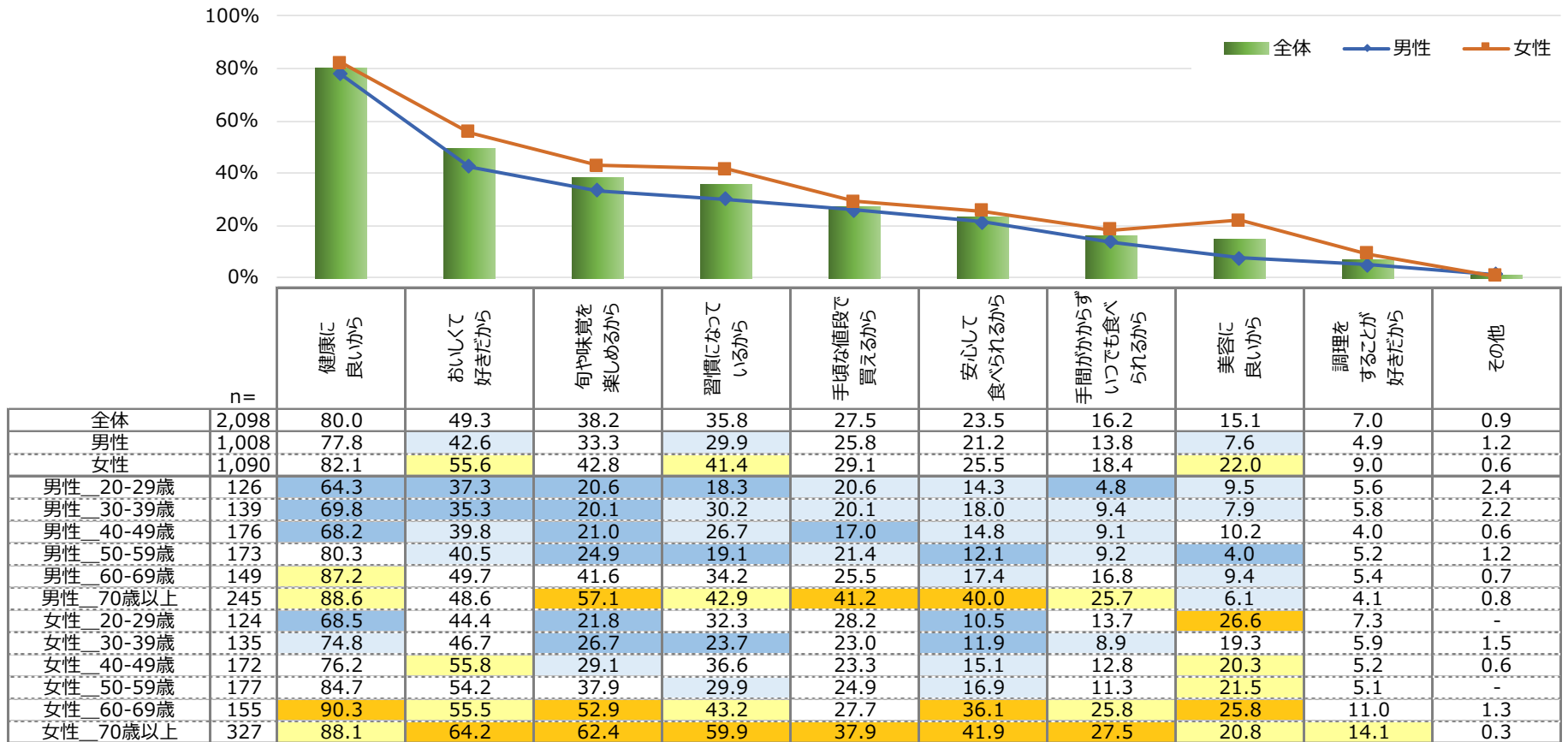


Q3.あなたがよく食べる野菜（野菜を使った料理、生野菜・サラダ、野菜ジュースなど）の種類を教えてください。（複数回答可）

※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q4-1. 野菜を食べる理由（複数回答）

- 野菜を食べる理由は、全体で「健康に良いから」が8割を占め最も多く、次いで「おいしくて好きだから」（49%）、「旬や味覚を楽しめるから」（38%）の順となっており、健康と味の良さが上位項目として挙げられた。
- 性・年代別では、女性は全ての理由で男性より上回っており、男性70歳以上、女性60歳以上といった高年齢層で様々な理由を多く挙げている。

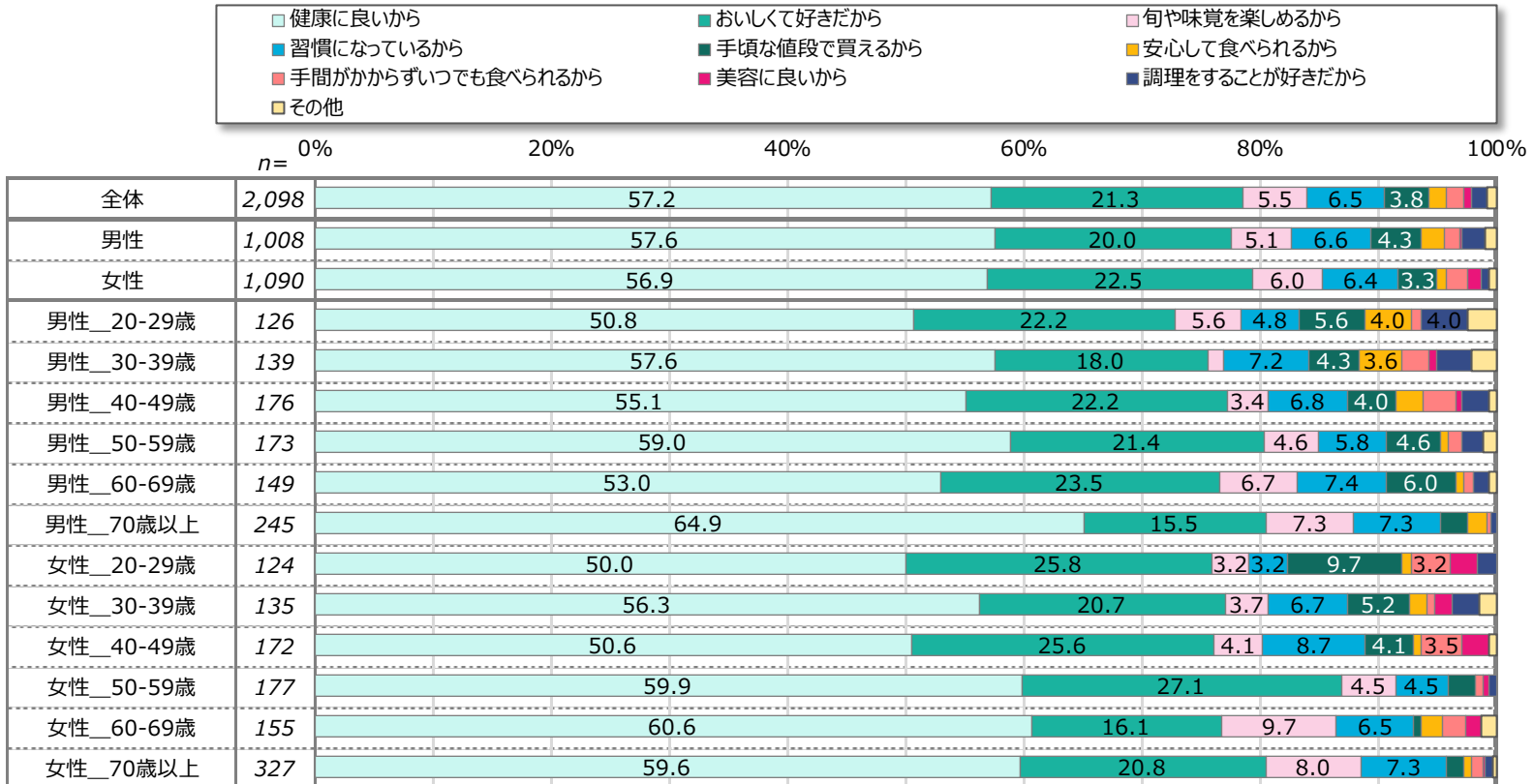


Q4-1. 野菜を食べる理由を全て選んで下さい。（複数回答可）

※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

Q4-2. 野菜を食べる最も大きな理由

- 野菜を食べる最も大きな理由は、全体で「健康に良いから」が6割弱を占め最も多く、次いで「おいしくて好きだから」（21%）、「習慣になっているから」（7%）の順となっており、前頁で3位だった「匂や味覚を楽しめるから」は6%弱にとどまった。
- 性・年代別では、男性70歳以上で「健康に良いから」、女性20代で「手頃な値段で買えるから」、女性50代で「おいしくて好きだから」比率が他と比べてやや高い。

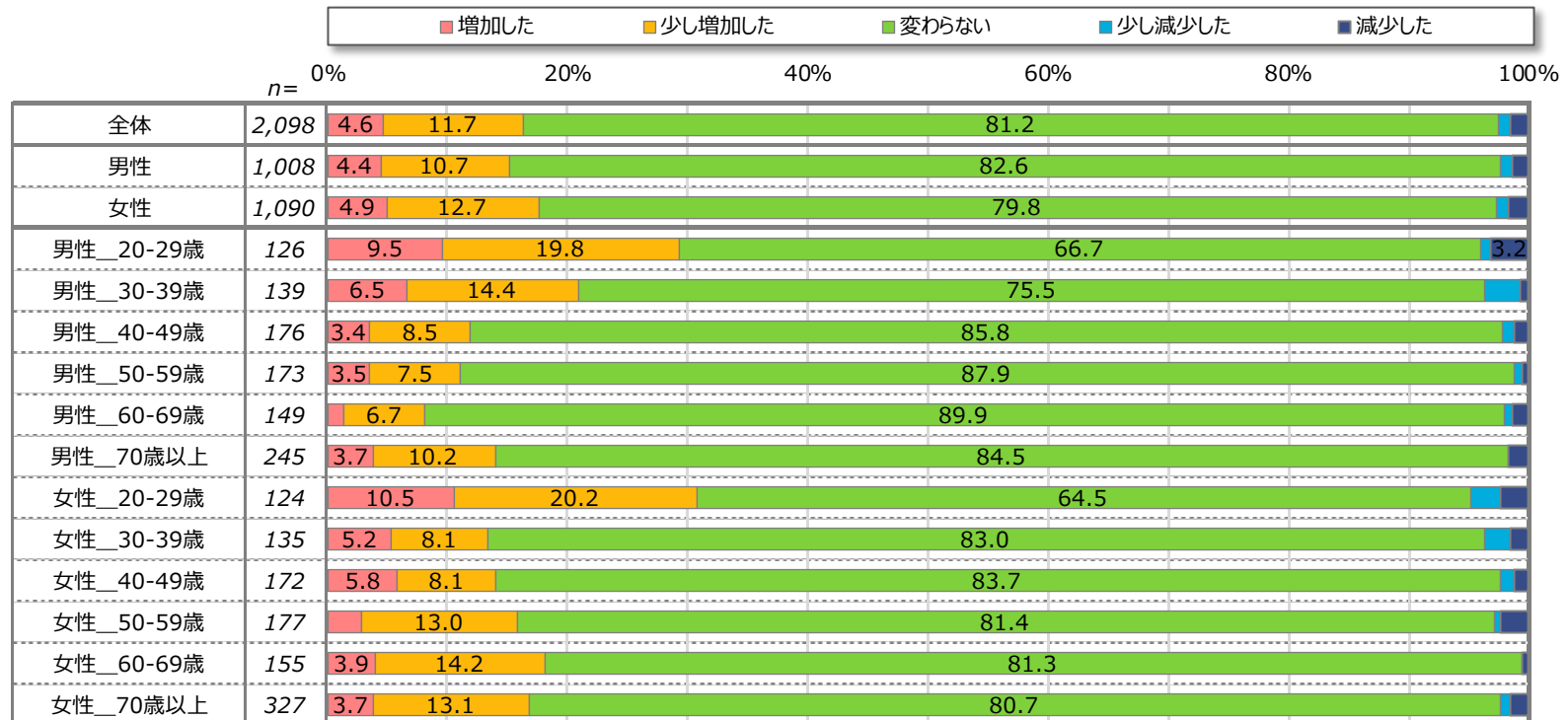


Q4-2.また、その中で最も大きな理由を一つ選んで下さい。

※3.0未満のデータは非表示

Q5. 新型コロナウイルス感染拡大による野菜を食べる頻度の変化

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、野菜を食べる頻度の変化は、全体で「変わらない」が8割以上を占め、「増加した」（「増加した」+「少し増加した」）のは16%であった。
- 性・年代別では、男女ともに普段の摂取頻度の低い20代の増加比率が高い。



Q5.新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、野菜を食べる頻度に変化はありましたか。

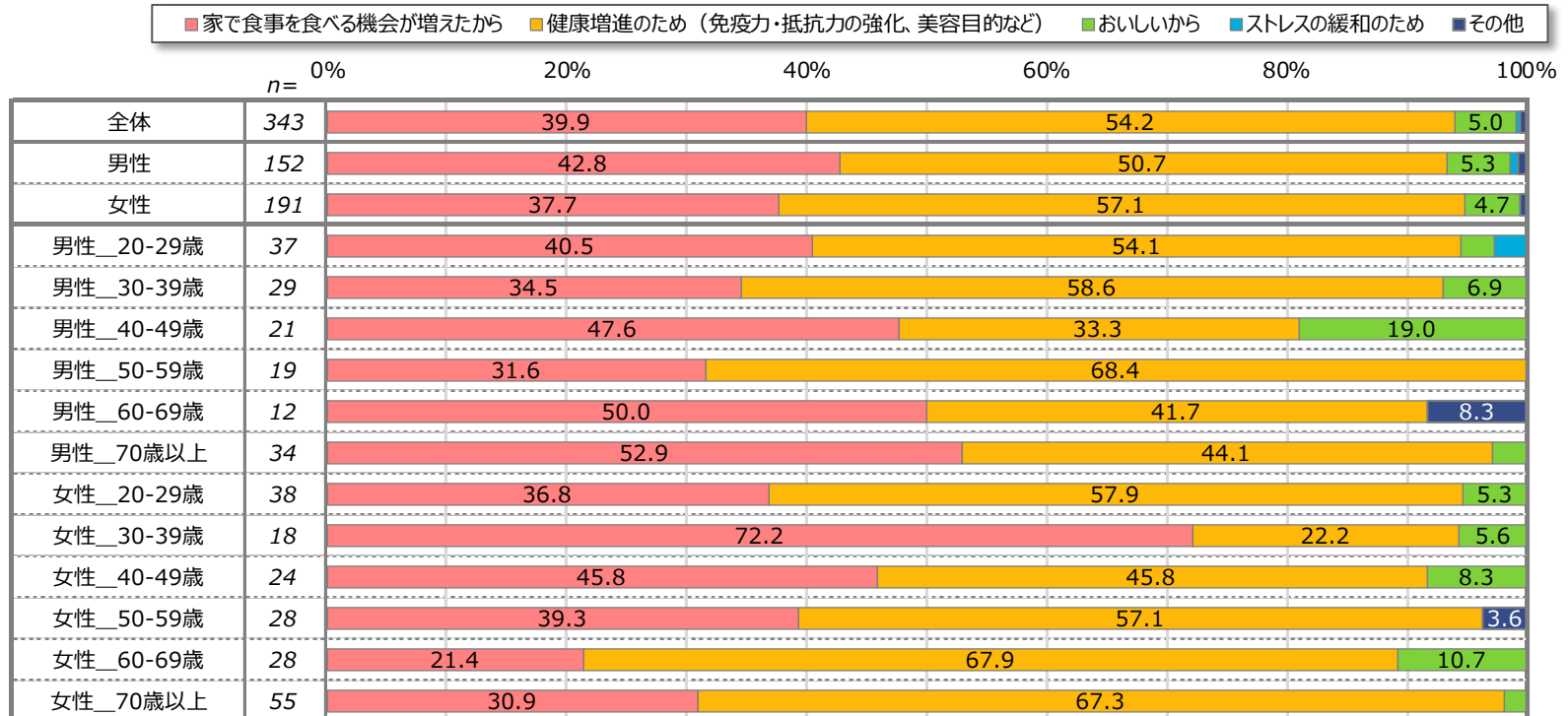
※3.0未満のデータは非表示

Q6-1. 野菜の摂取量が増えた理由

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が増加した人に野菜の摂取が増えた理由を聞いたところ、全体で「健康増進のため」が過半数を占め最も多く、次いで「家で食事を食べる機会が増えたから」が約40%と2大理由となっている。
- 性・年代別では、男性60歳以上や女性30代では「家で食事を食べる機会が増えたから」が半数以上を占めている。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取増加者のみ



Q6-1.野菜の摂取量が増えた理由として、最もあてはまるものを一つ選んで下さい。

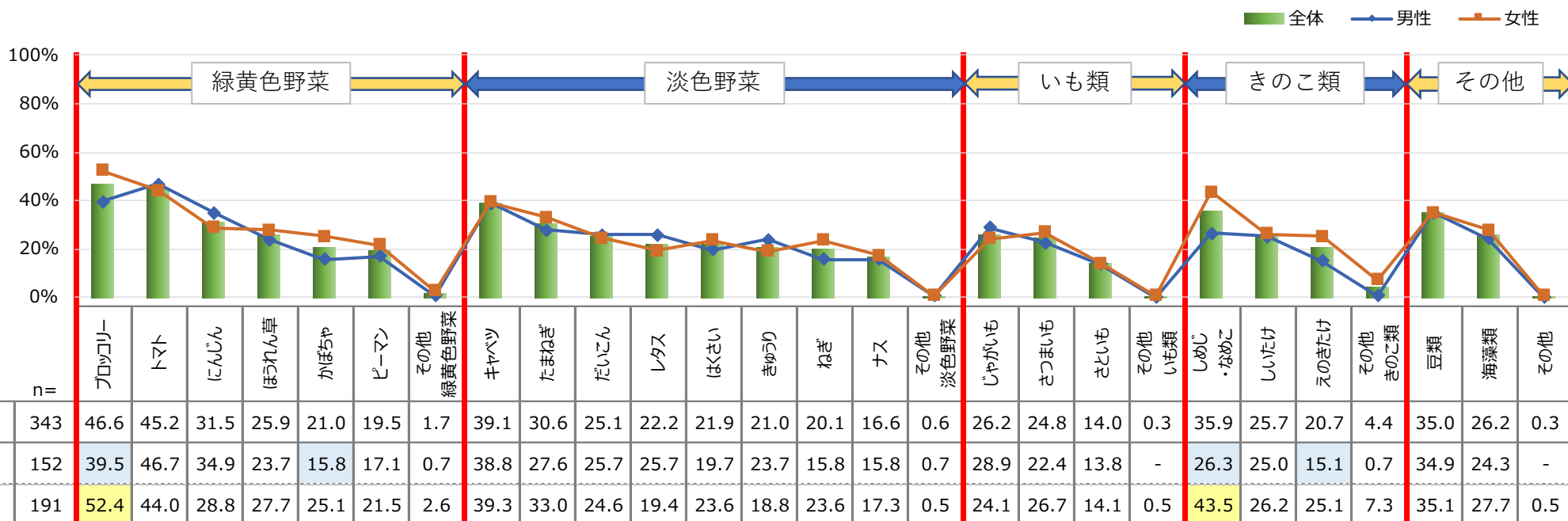
※3.0未満のデータは非表示

Q6-2. 摂取が増えた野菜の種類（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が増加した人に摂取が増えた野菜の種類を聞いたところ、全体で「ブロッコリー」が47%と最も多く、次いで「トマト」（45%）、「キャベツ」（39%）、「しめじ・なめこ」（約36%）、「豆類」（35%）などが上位となり、普段よく食べている野菜に比べて、緑黄色野菜など健康を意識した野菜が挙げられている様子。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取増加者のみ



Q6-2. 摂取が増えた野菜の種類を教えてください。（複数回答可）

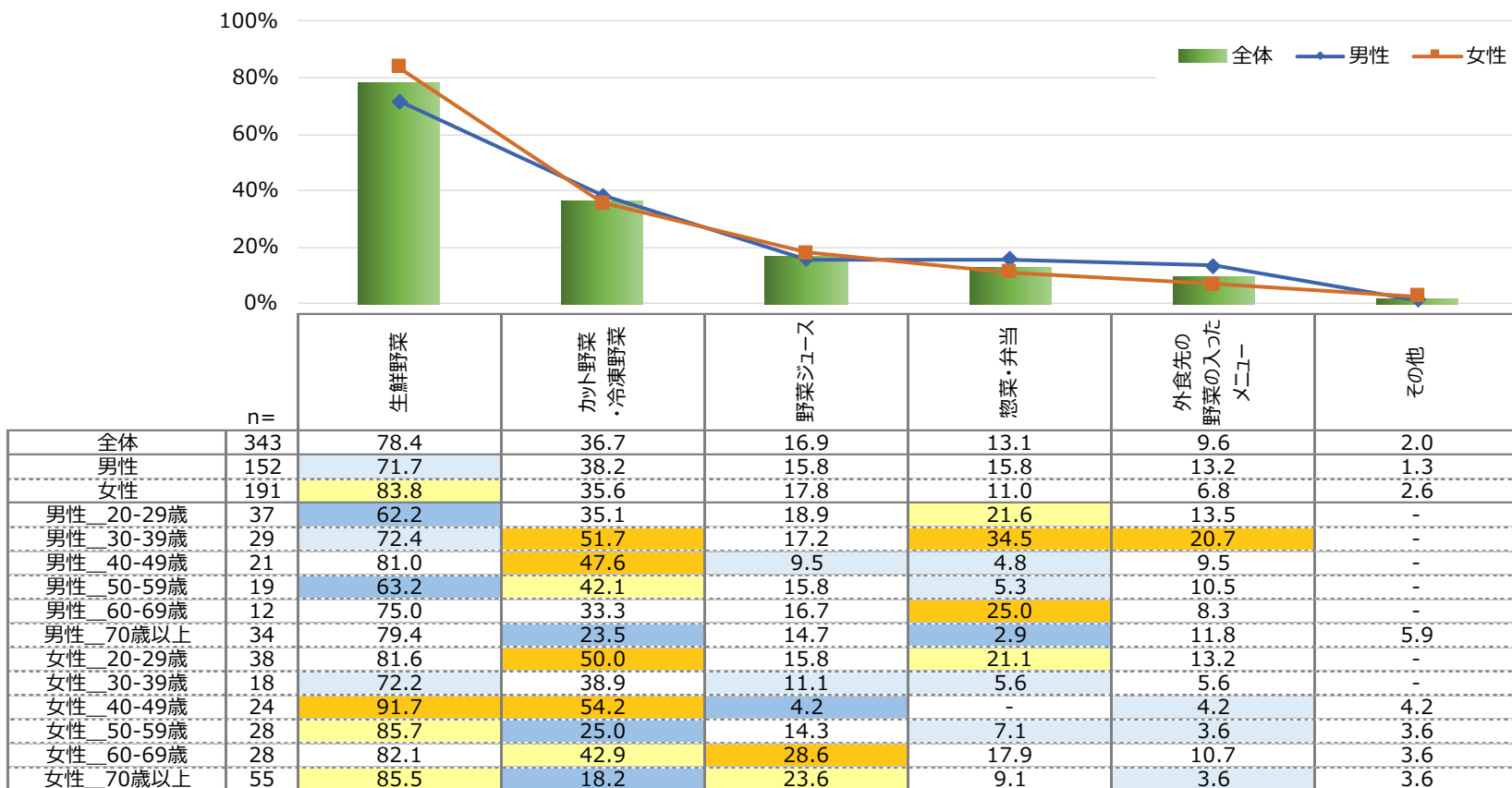
※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

Q6-3. 摂取が増えた野菜の形態（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が増加した人に摂取が増えた野菜の形態を聞いたところ、全体で「生鮮野菜」が8割弱を占め最も多く、次いで「カット野菜・冷凍野菜」（約37%）、「野菜ジュース」（約17%）などが挙げられ、普段の摂取形態と同様の順位となった。
- 性・年代別では、女性で「生鮮野菜」比率がやや高い。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取増加者のみ



Q6-3.現在、野菜はどのような形態のものを摂取することが増えましたか。（複数回答可）

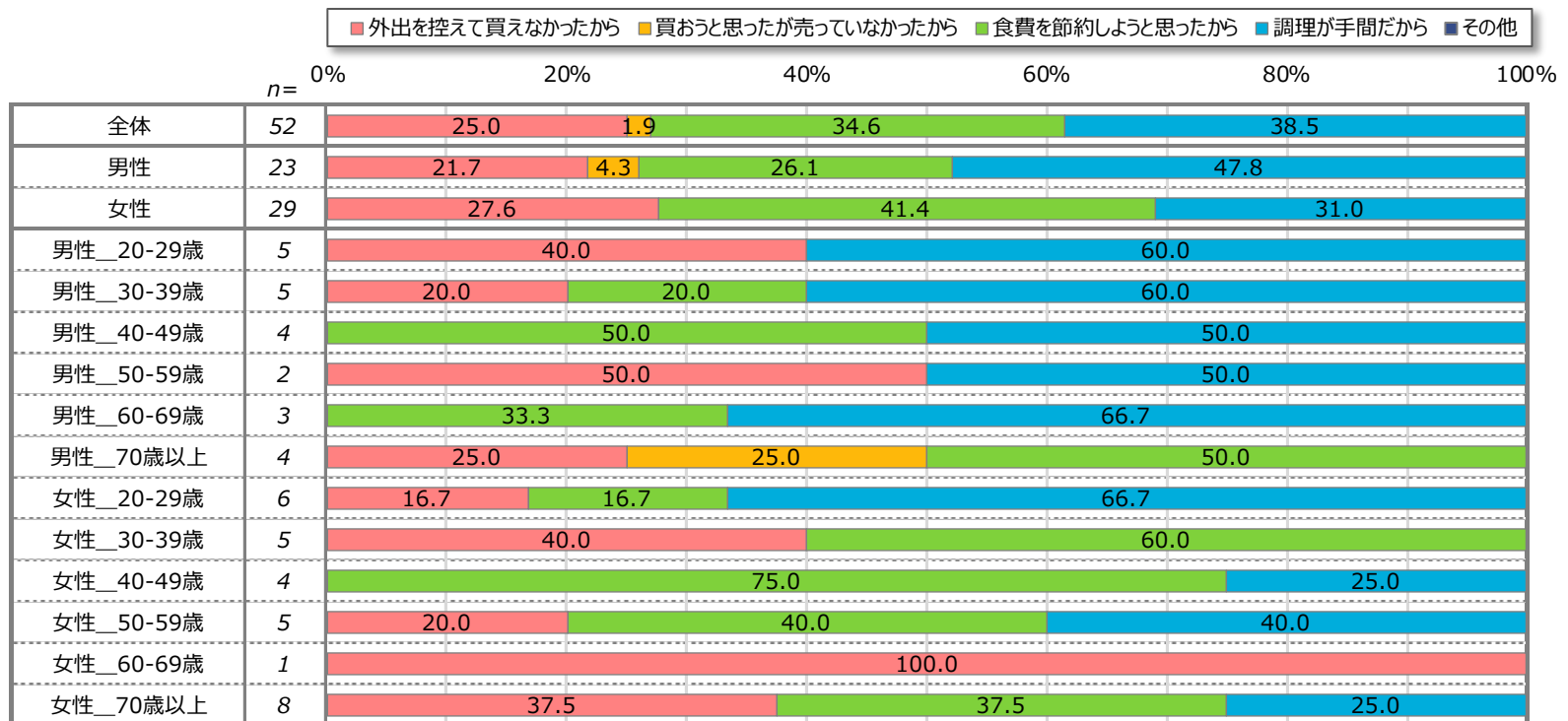
※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q7-1. 野菜の摂取量が減った理由

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が減少した人に野菜の摂取が減った理由を聞いたところ、全体で「調理が手間だから」が4割弱を占め最も多く、次いで「食費を節約しようと思ったから」（約35%）、「外出を控えて買えなかったから」（25%）などとなっている。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取減少者のみ



Q7-1.野菜の摂取量が減った理由として、最もあてはまるもの一つを選んで下さい。現在、野菜はどのような形態のものを摂取することが増えましたか。（複数回答可）

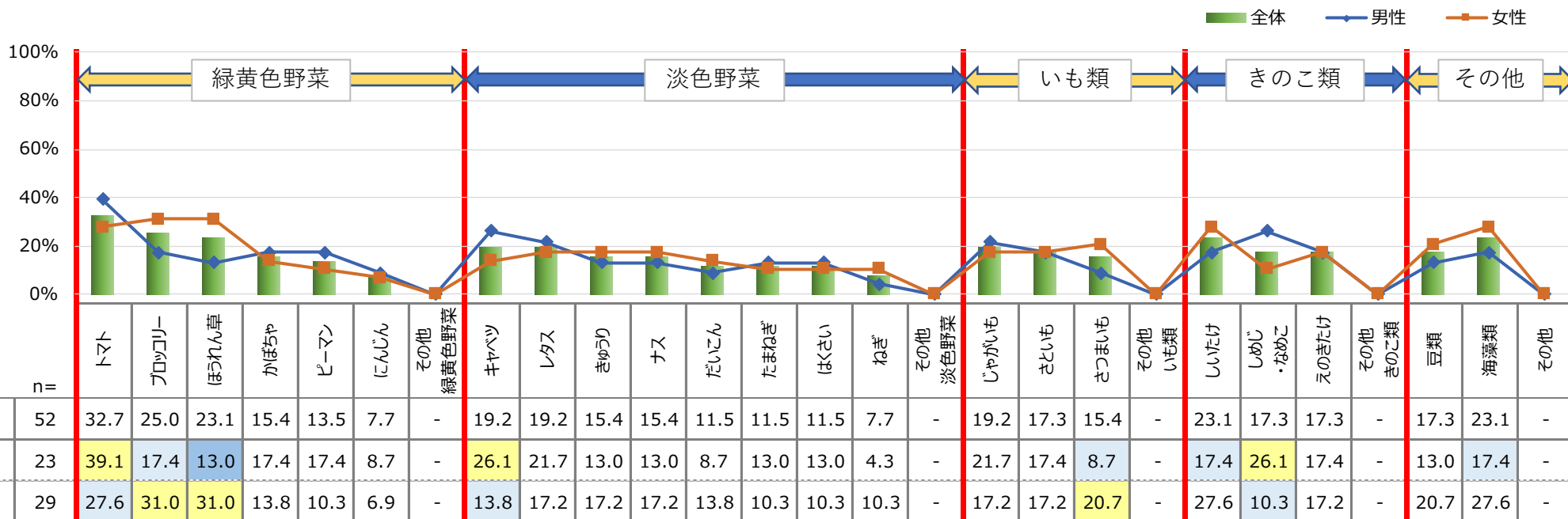
※3.0未満のデータは非表示

Q7-2. 摂取が減った野菜の種類（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が減少した人に摂取が減った野菜の種類を聞いたところ、全体で「トマト」が約33%と最も多く、次いで「ブロッコリー」（25%）、「ほうれん草」「しいたけ」「海藻類」（23%）などが挙げられた。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取減少者のみ



Q7-2. 摂取が減った野菜の種類を教えてください。（複数回答可）

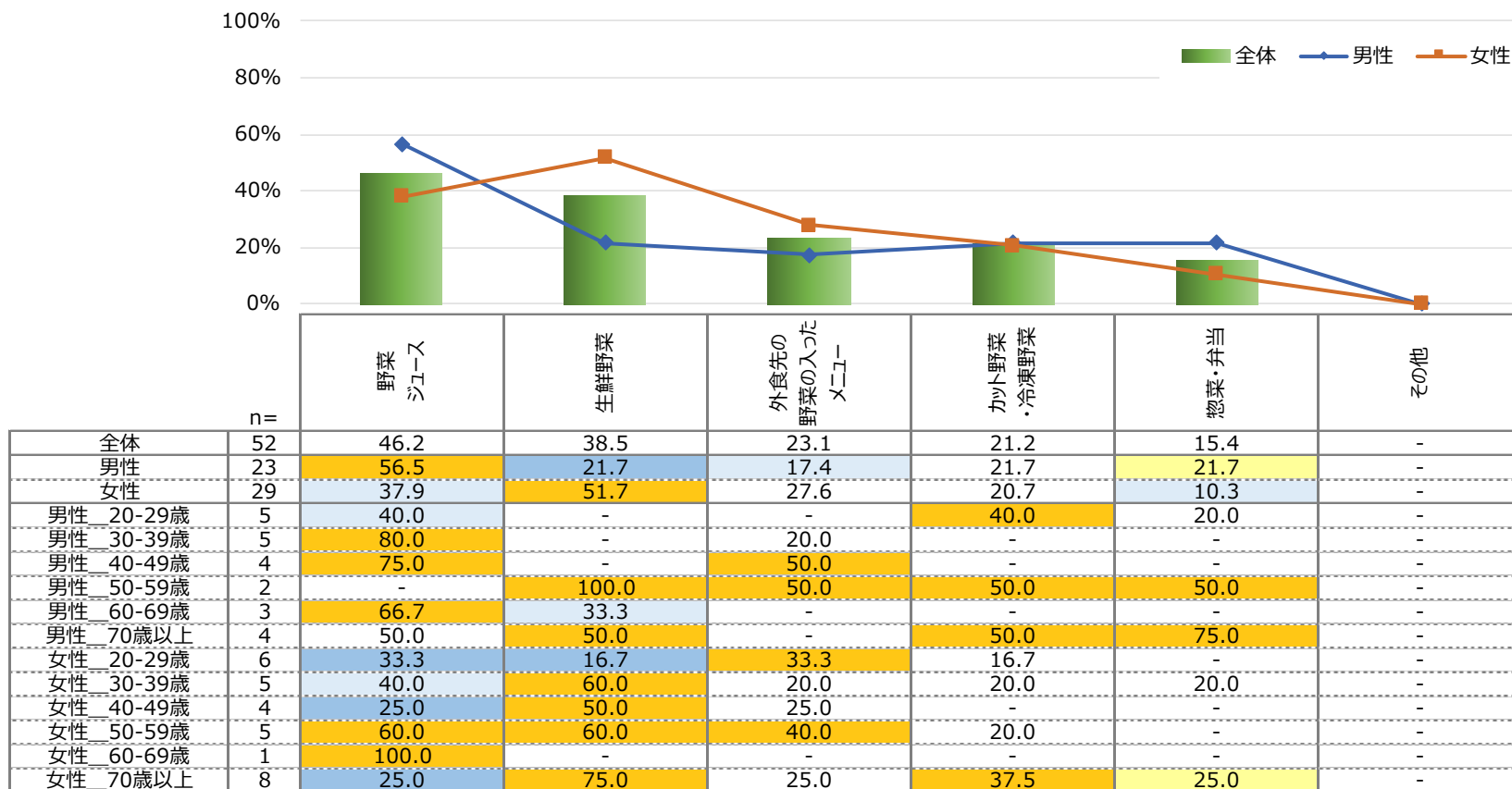
※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

Q7-3. 摂取が減った野菜の形態（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、野菜の摂取が減少した人に摂取が減った野菜の形態を聞いたところ、全体で「野菜ジュース」が46%と最も多く、次いで「生鮮野菜」（約39%）、「外食先の野菜の入ったメニュー」（23%）などが挙げられ、普段の摂取形態として多くない形態が上位に挙げられた様子。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取減少者のみ



Q7-3.現在、野菜はどのような形態で摂取することが減りましたか。（複数回答可）

※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q8. 野菜に関する産地や小売業者等への要望・意見（自由回答）

- 野菜に関する産地や小売業者等への要望・意見を聞いたところ、879人から回答があり、「価格」に関する内容が最も多く（約30%）、次いで「カット野菜・冷凍野菜」（約12%）、「国産野菜」（約10%）、「小分け・ばら売り」（約10%）、「規格外品」（約7%）などについてであった。

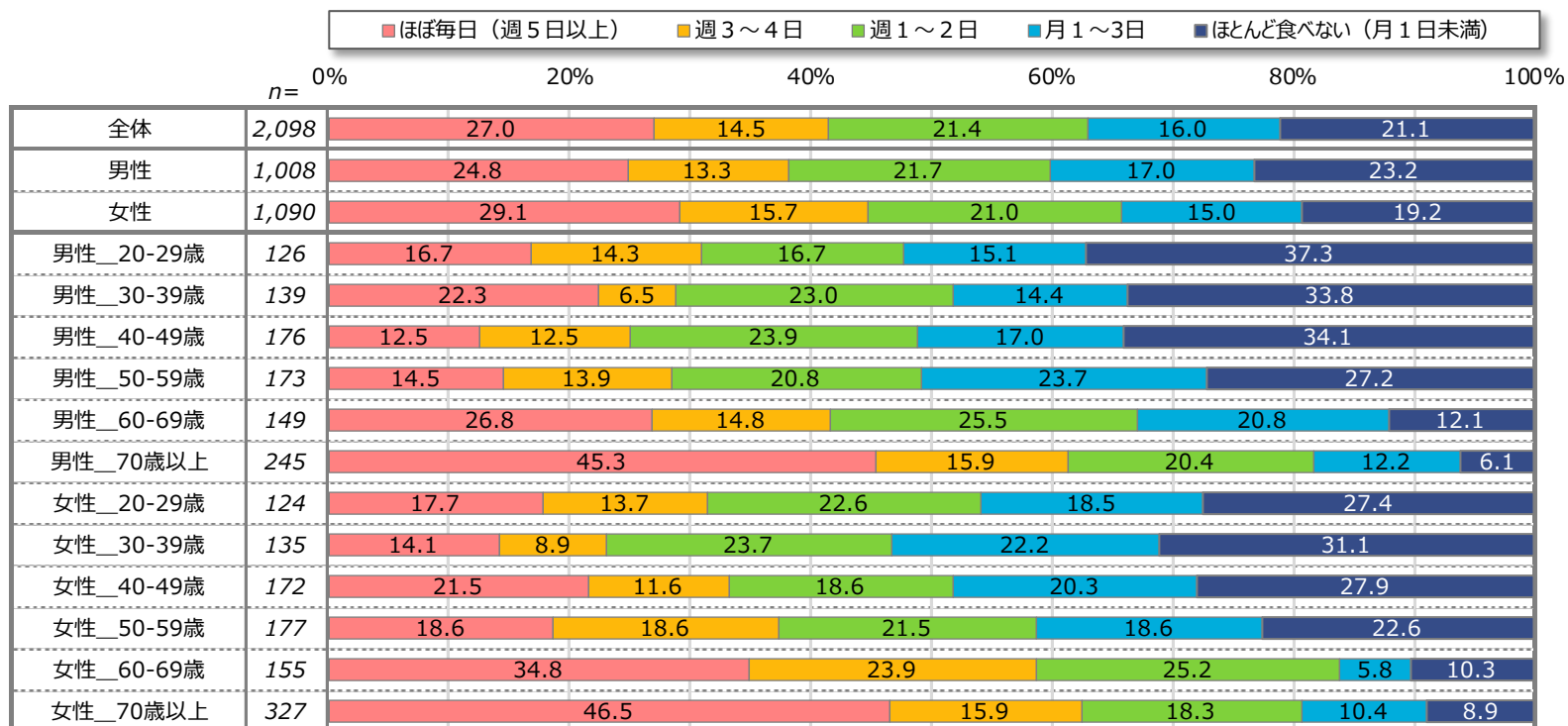
主な項目	主な内容
価格について	価格が安定すると嬉しい / 値段が高くなったので安くしてほしい / 価格が高騰しているので安価なものを選んでいるが、様々な野菜を安く供給していただけたら嬉しい / 天候によって価格が上昇しないようにしてほしい / 天候に左右されずにいつも安い金額で野菜が購入出来たらいいと思う / 時期によって高くなったり安くなったりするが、年間を通じて価格があまり変動しないようになってほしい / 手頃な価格でたくさん食べたい
カット野菜について	日持ちのするカット野菜の種類を増やしてほしい / 国産の緑黄色野菜のたくさん入ったカット野菜を増やしてほしい / かぼちゃ等の硬い野菜を小さくカットしてほしい / 食品ロスを防ぐためカット野菜の種類を増やしてほしい / カット野菜の大容量、チャック付きだと嬉しい / 少量の食べきりサイズのカット野菜がもっと欲しい / カット野菜の袋が小分けに出来るように工夫されていると嬉しい（一袋を一回で使い切れないが、毎日食べるので小分けにしやすい袋にならないかなと思う）
冷凍野菜について	冷凍野菜の種類を増やしてほしい / 美味しい冷凍野菜の種類を増やしてほしい / 冷凍野菜の量が多いので使い切りサイズを増やしてほしい / 国産の冷凍野菜がほしい / 1個ずつ小さく切れてる冷凍野菜はすごく便利なので、種類を増やしてほしい / 冷凍野菜の美味しい食べ方を知りたい
国産野菜について	売り場に国産の野菜がもっと並ぶようにしてほしい / 可能な範囲で国産野菜を増やしてほしい / レストランでは国産野菜を使ってほしい / 安心して食べられる国産野菜を、小人数でも食べやすいように少量パックや一本、一個売りを増やしてほしい / もっと国産野菜ジュースや冷凍野菜を増やしてほしい / 国産野菜を良く購入するので増やしてほしい / 多少高くても国産野菜を希望
小分け・ばら売りについて	一人世帯でも使い切れるように小分けやばら売りにして販売してほしい / いつも新鮮な野菜を食べたいから多少割高でも小分けな物を増やしてほしい / 小分けの鍋用や炒め用みたいな感じで何種類かの野菜をまとめて少量で売ってほしい / 小家族用の小分け野菜がほしい / ばら売り野菜の種類を増やしてほしい / 小分けやカット野菜の種類を増やしてほしい / 小分けして値段を下げて販売してほしい
規格外品について	B級品も安く販売してほしい（品質に問題ないのに、形が悪い、少しのキズで破棄はもったいない） / 安全で栄養価の高い旬の野菜をはじめ、いろんな種類の野菜を形など不揃いでいいから手ごろな価格でふんだんに店頭で並べてほしい / 国産で見た目は悪くても、廃棄するようなものでも、安くおいしいものをもっと流通させてほしい / 綺麗な形の野菜ばかりではなく、いびつな形だったり、見た目が少し良くないものでもしっかり食べる事の出来るものをどんどん出して値段の幅を広げて消費者が自分に合った値段で買えるようにしてほしい

Q8. 今後、産地や小売業者等に対して、野菜に関するご希望やご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査結果の詳細（果物）

Q9. 果物の購入・摂取頻度

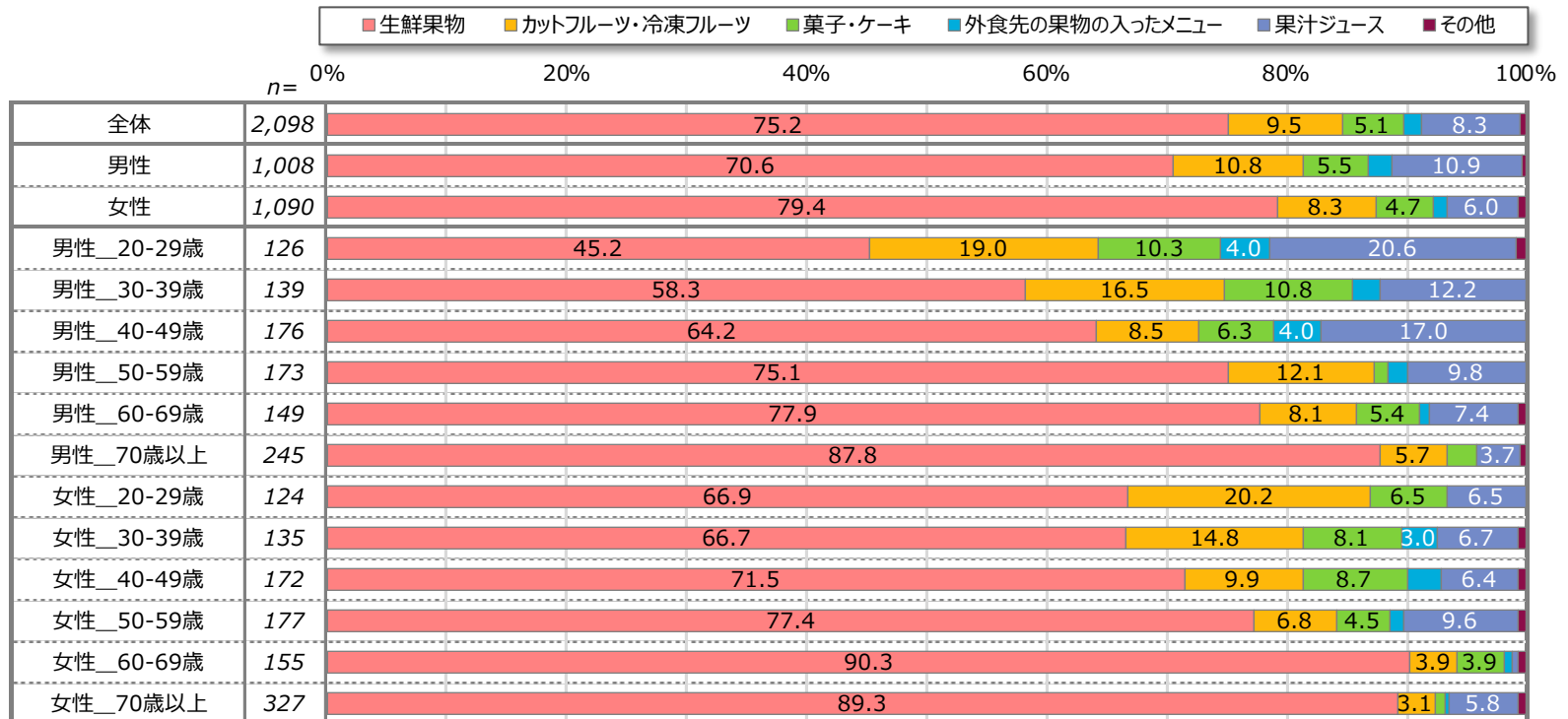
- 果物の購入・摂取頻度は、全体で「ほぼ毎日（週5日以上）」が27%と最も多く、次いで「週1～2日」（21%）、「ほとんど食べない（週1日未満）」（21%）などとなっており、野菜と比べて頻度は少ない様子。
- 性・年代別では、男女ともに60代～70歳以上で「ほぼ毎日」が多く、男女とも20～50代で「ほとんど食べない」比率の高さが目立つ。



Q9.あなたは果物（果物そのもの、カットフルーツ、冷凍フルーツ、ドライフルーツ、果汁飲料など）をどの程度の頻度で買い、また食べますか。

Q10. 果物を摂取する形態

- 果物の摂取形態は、全体で「生鮮果物」が75%を占め最も多く、次いで「カットフルーツ・冷凍フルーツ」（約10%）、「果汁ジュース」（8%）などとなっている。
- 性・年代別では、男性より女性で「生鮮果物」比率が高く、総じて年代が高くなるほど「生鮮果物」比率が高くなっている。
- 他方、男女20代で「カットフルーツ・冷凍フルーツ」、男性20代で「果汁ジュース」比率の高さが目立つ。

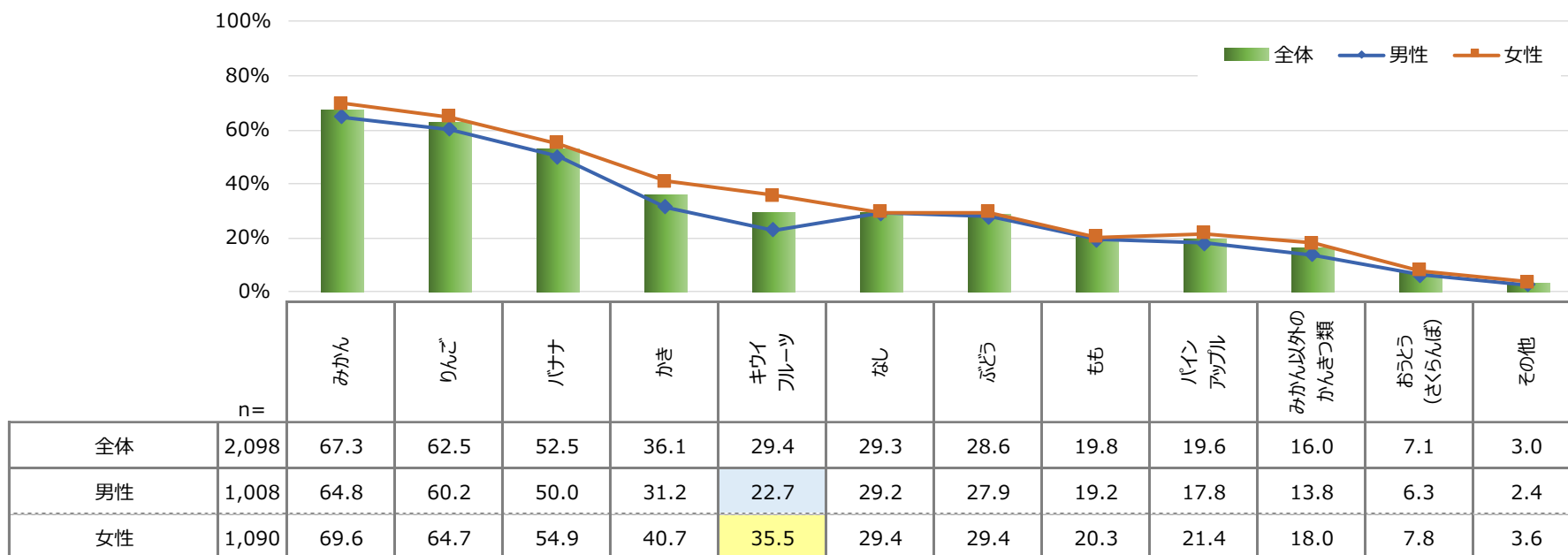


Q10.現在、果物（果物そのもの、カットフルーツ、冷凍フルーツ、ドライフルーツ、果汁飲料など）は主にどのような形態で摂取されていますか。次のうち、最も多い割合のもの一つを選んで下さい。

※3.0未満のデータは非表示

Q11. よく食べている果物の種類（複数回答）

- よく食べる果物は、全体で「みかん」が7割弱を占め最も多く、次いで「りんご」（約63%）、「バナナ」（約53%）、「かき」（36%）などが上位に挙げられた。
- 性・年代別では、全ての項目で女性が男性を上回っているが、「キウイフルーツ」や「かき」でその差が目立つ。

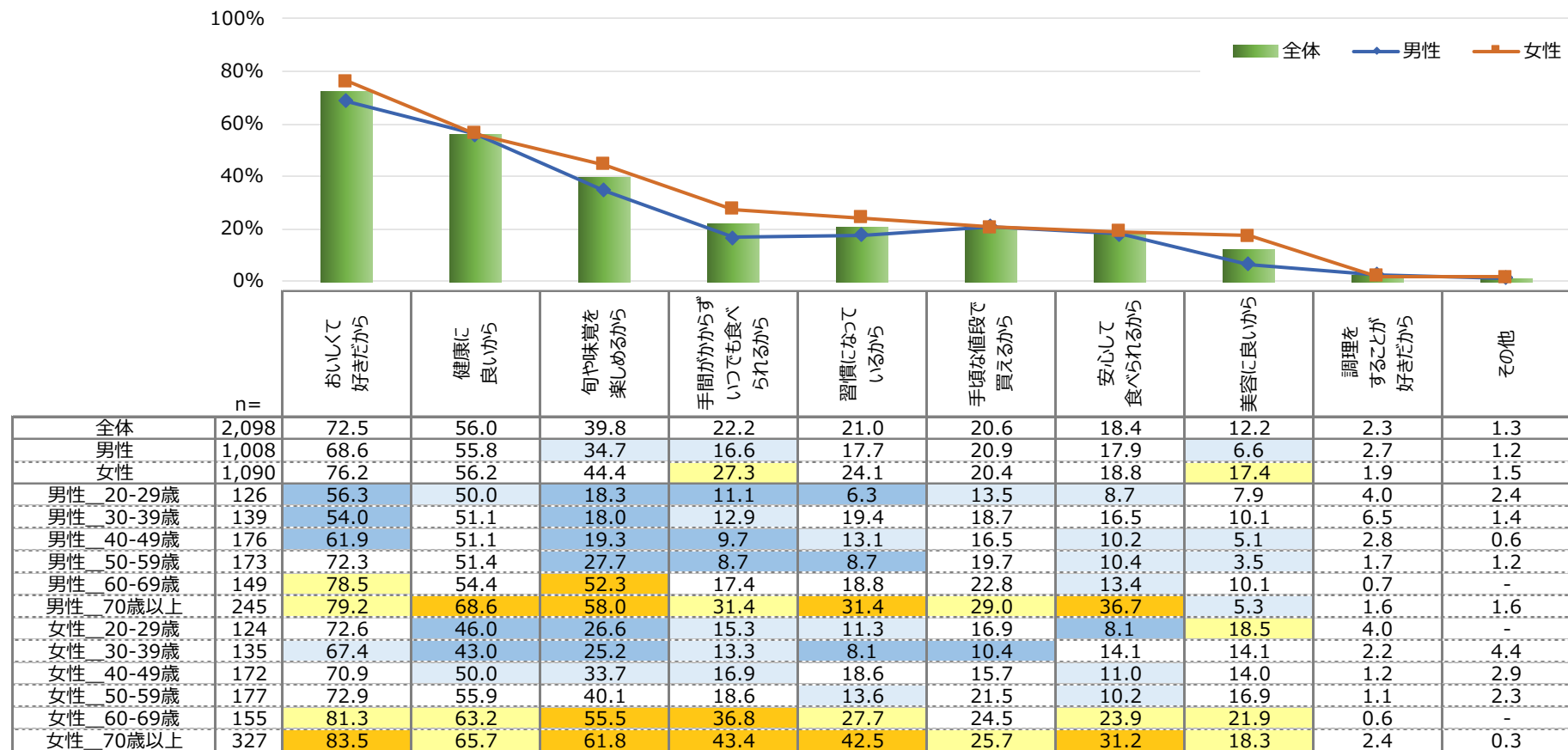


※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■)
-5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q11.あなたがよく食べている果物（果物そのもの、カットフルーツ、冷凍フルーツ、ドライフルーツ、果汁飲料など）の種類を教えてください。（複数回答可）

Q12-1. 果物を食べる理由（複数回答）

- 果物を食べる理由は、全体で「おいしくて好きだから」が約7割を占め最も多く、次いで「健康に良いから」（56%）、「匂や味覚を楽しめるから」（約40%）の順となっており、野菜と同様に健康と味の良さが上位項目として挙げられたが、果物の方が「おいしい」といった理由が強い様子。
- 性・年代別では、女性はほとんどの理由で男性より上回っており、男性70歳以上、女性60歳以上といった高年齢層で様々な理由を多く挙げている。

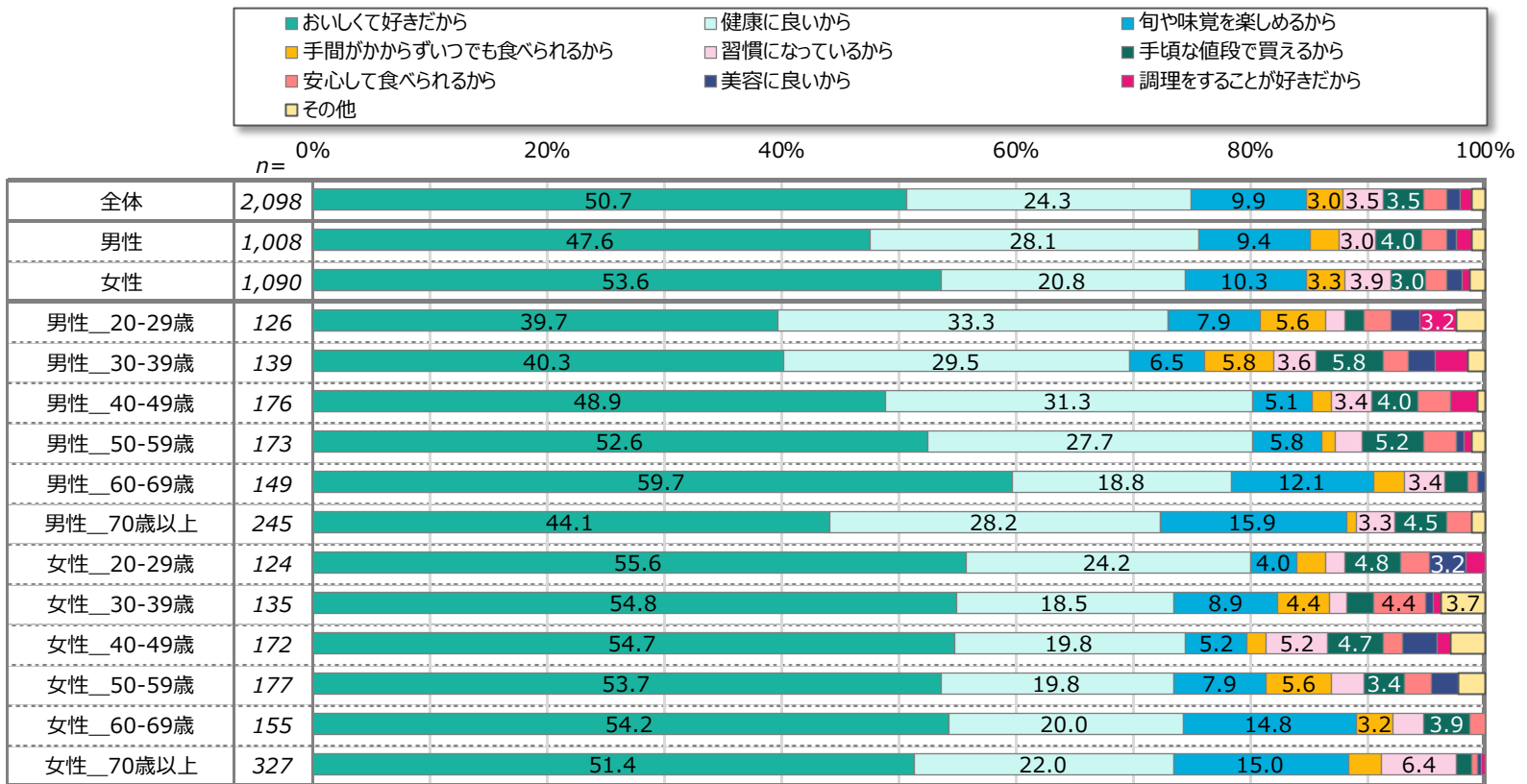


Q12-1.果物を食べる理由を全て選んで下さい。（複数回答可）

※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

Q12-2. 果物を食べる最も大きな理由

- 果物を食べる最も大きな理由は、全体で「おいしくて好きだから」が過半数を占め最も多く、次いで「健康に良いから」（24%）、「匂や味覚を楽しめるから」（約10%）の順となっており、前頁と同傾向。
- 性・年代別では、男性40代以下で「健康に良いから」、男性60代で「おいしくて好きだから」、男女70歳以上で「匂や味覚を楽しめるから」比率が他と比べてやや高い。
- 男女とも20代が他の年代と比べて「健康に良いから」の比率が最も高い。

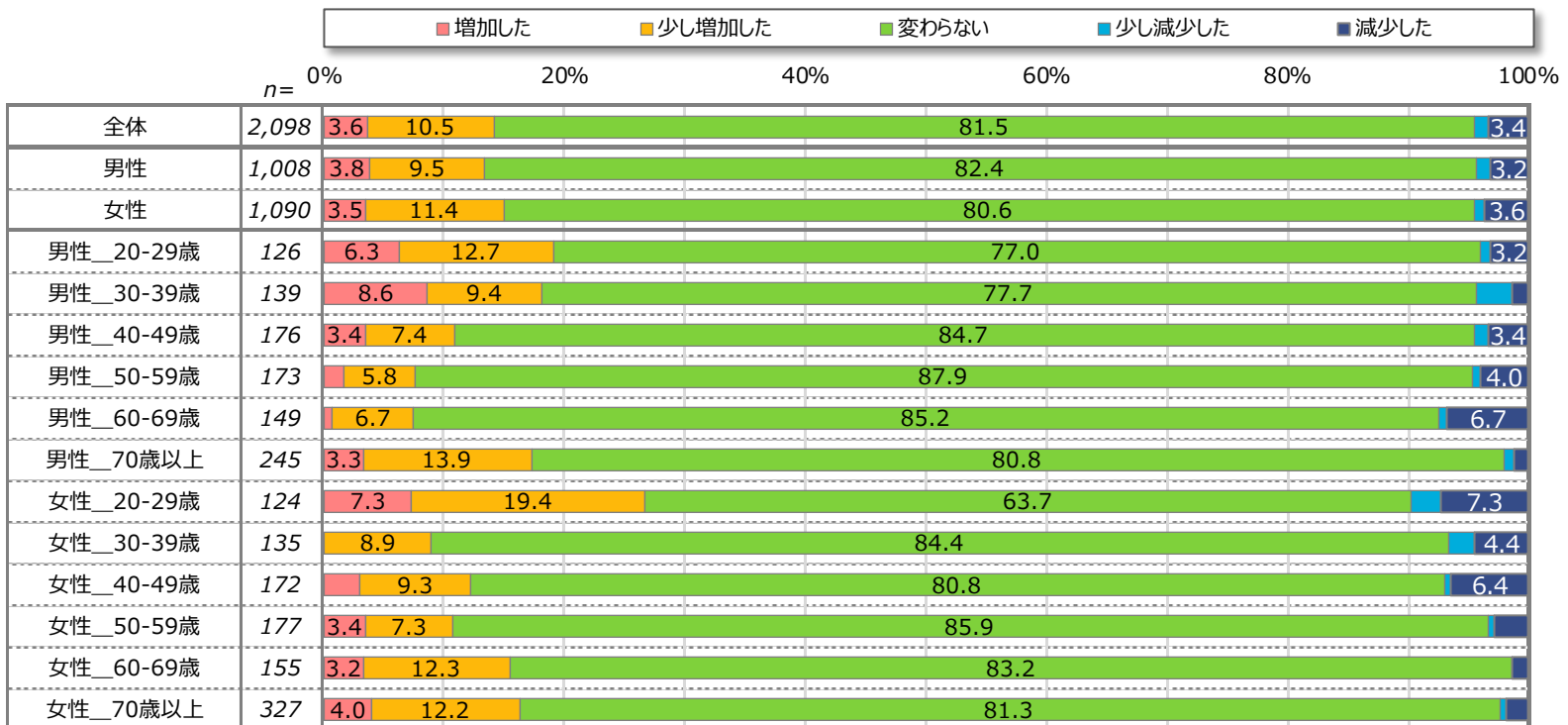


Q12-2.また、その中で最も大きな理由を一つ選んで下さい。

※3.0未満のデータは非表示

Q13. 新型コロナウイルス感染拡大による果物を食べる頻度の変化

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、果物を食べる頻度の変化は、全体で「変わらない」が8割以上を占め、「増加した」（「増加した」+「少し増加した」）のは14%と、野菜と同様の傾向であった。
- 性・年代別では、比較的摂取頻度の低い男性30代以下や女性20代の増加比率がやや高い。



Q13.新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、果物を食べる頻度に変化はありましたか。

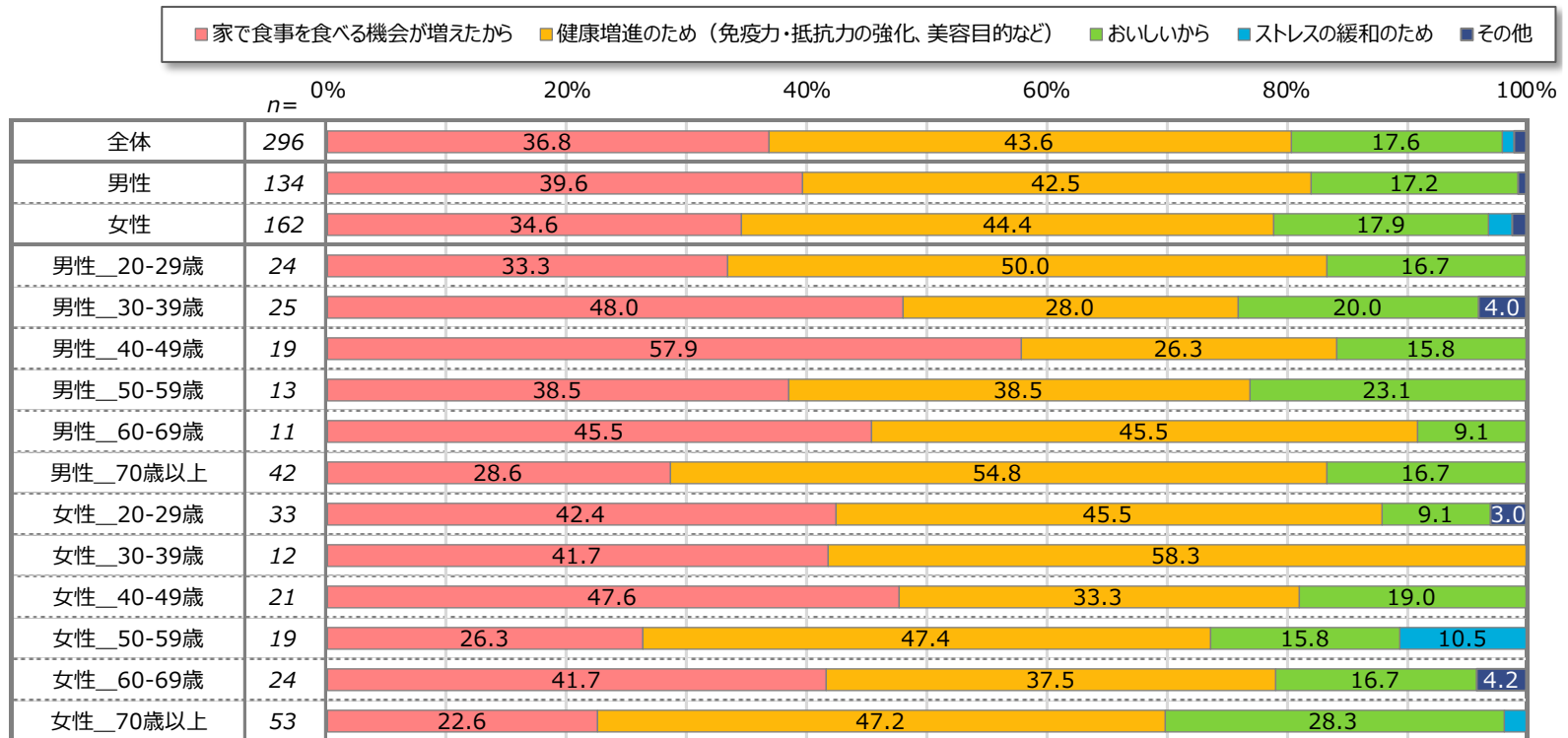
※3.0未満のデータは非表示

Q14-1. 果物の摂取量が増えた理由

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が増加した人に果物の摂取が増えた理由を聞いたところ、全体で「健康増進のため」が約44%と最も多く、次いで「家で食事を食べる機会が増えたから」（約37%）、「おいしいから」（約18%）などとなっている。
- 性・年代別では、男性30-40代、女性40代、60代で「家で食事を食べる機会が増えたから」が最も多い理由となっている。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取増加者のみ



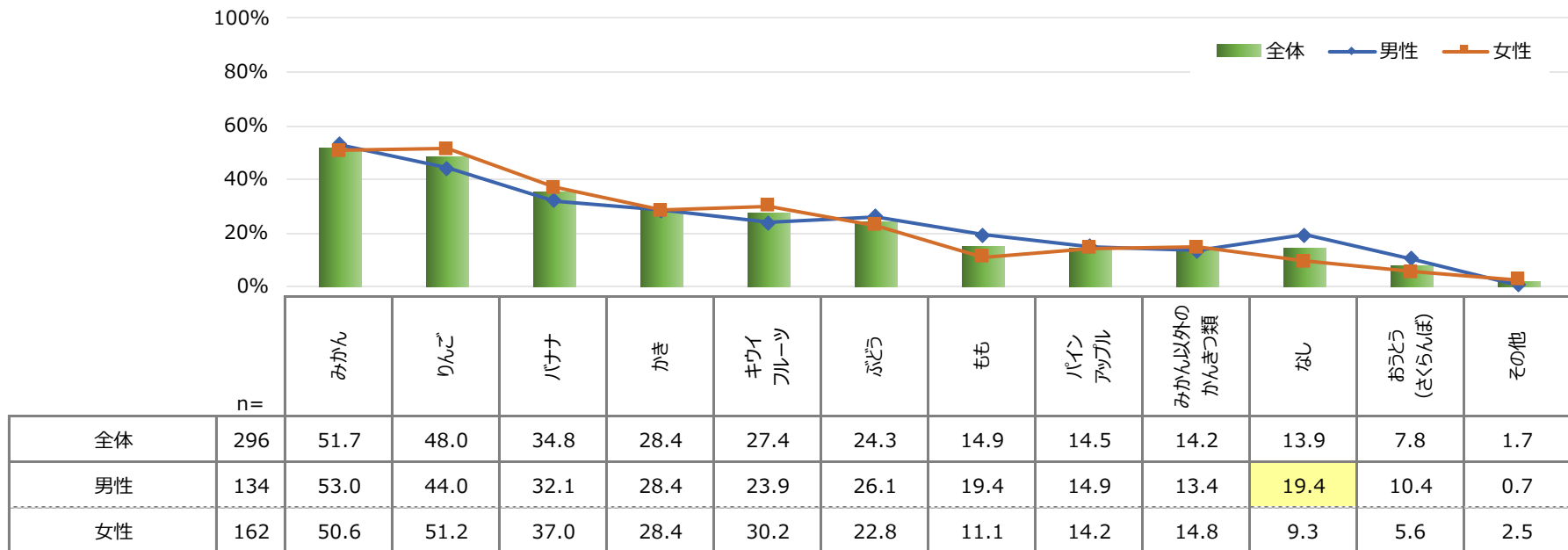
Q14-1.果物の摂取量が増えた理由として、最もあてはまるものを一つ選んで下さい。

※3.0未満のデータは非表示

Q14-2. 摂取が増えた果物の種類（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が増加した人に摂取が増えた果物の種類を聞いたところ、全体で「みかん」が52%と最も多く、次いで「りんご」（48%）、「バナナ」（約35%）、「かき」（28%）、「キウイフルーツ」（27%）などが上位となり、総じて普段よく食べている果物と同様の果物が上位を占めた。

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取増加者のみ



Q14-2. 摂取が増えた果物（果物そのものカットフルーツ、冷凍フルーツ、ドライフルーツ、果汁飲料など）の種類を教えてください。（複数回答可）

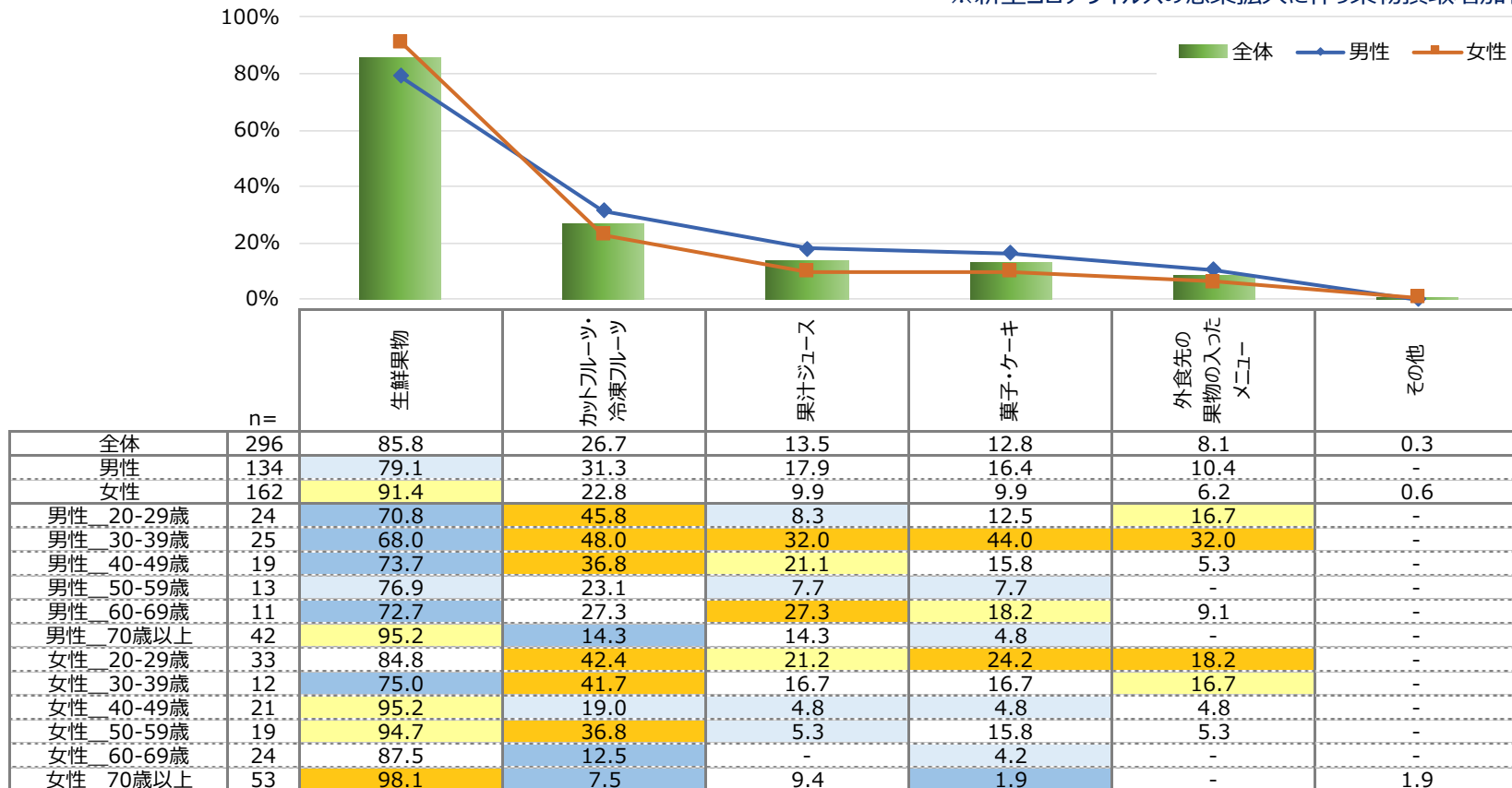
※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■)
-5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q14-3. 摂取が増えた果物の形態（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が増加した人に摂取が増えた果物の形態を聞いたところ、全体で「生鮮果物」が約86%を占め最も多く、次いで「カットフルーツ・冷凍フルーツ」（約27%）、「果汁ジュース」（約14%）などが挙げられ、普段の摂取形態と同様の順位となった。
- 性・年代別では、女性で「生鮮果物」比率がやや高く、男女とも20～30代で「カットフルーツ・冷凍フルーツ」の比率がやや高い。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取増加者のみ



Q14-3.現在、果物はどのような形態のものを摂取することが増えましたか。（複数回答可）

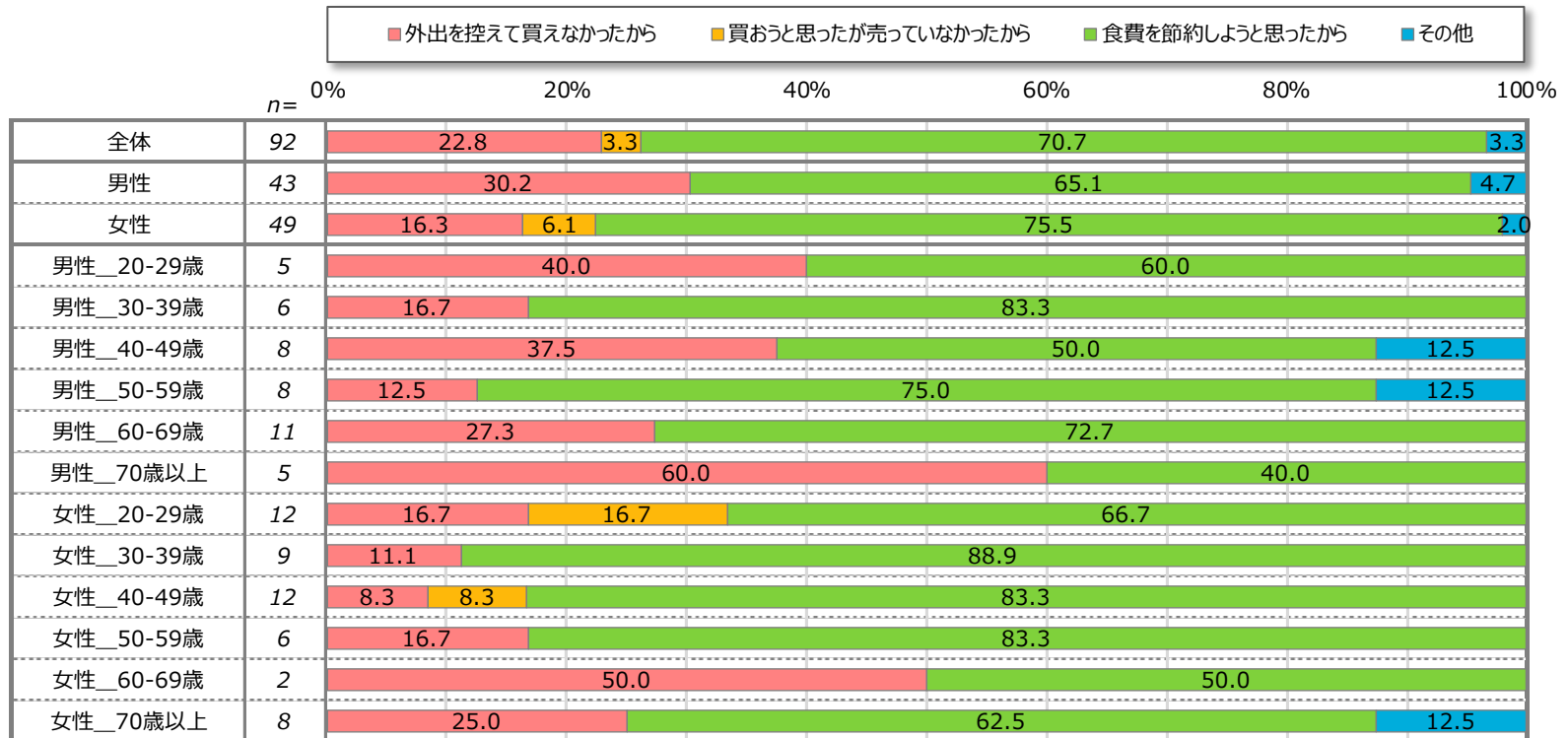
※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q15-1. 果物の摂取量が減った理由

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が減少した人に果物の摂取が減った理由を聞いたところ、全体で「食費を節約しようと思ったから」が7割以上を占め最も多く、次いで「外出を控えて買えなかったから」（約23%）などとなっている。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取減少者のみ



Q15-1.果物の摂取量が減った理由として、最もあてはまるものを一つ選んで下さい。

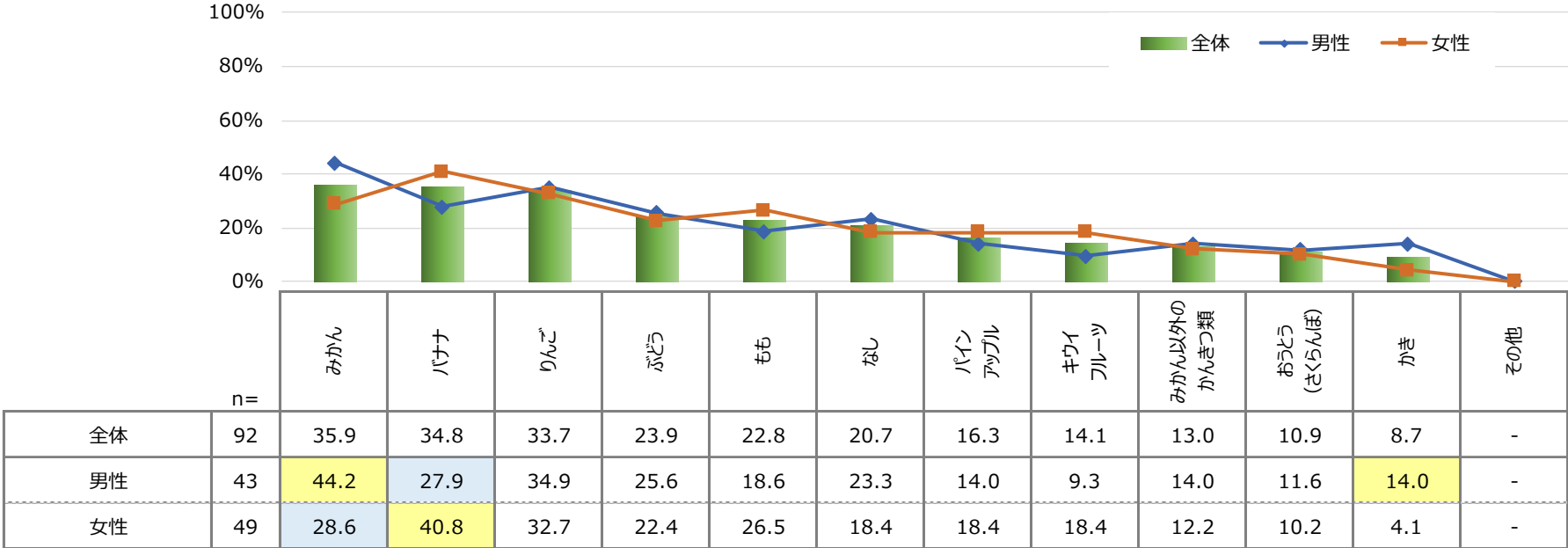
※3.0未満のデータは非表示

Q15-2. 摂取が減った果物の種類（複数回答）

■ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が減少した人に摂取が減った果物の種類を聞いたところ、全体で「みかん」が約36%と最も多く、次いで「バナナ」（約35%）、「りんご」（約34%）、「ぶどう」（約24%）、「もも」（約23%）などが挙げられた。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取減少者のみ



Q15-2. 摂取が減った果物（果物そのものカットフルーツ、冷凍フルーツ、ドライフルーツ、果汁飲料など）の種類を教えてください。（複数回答可）

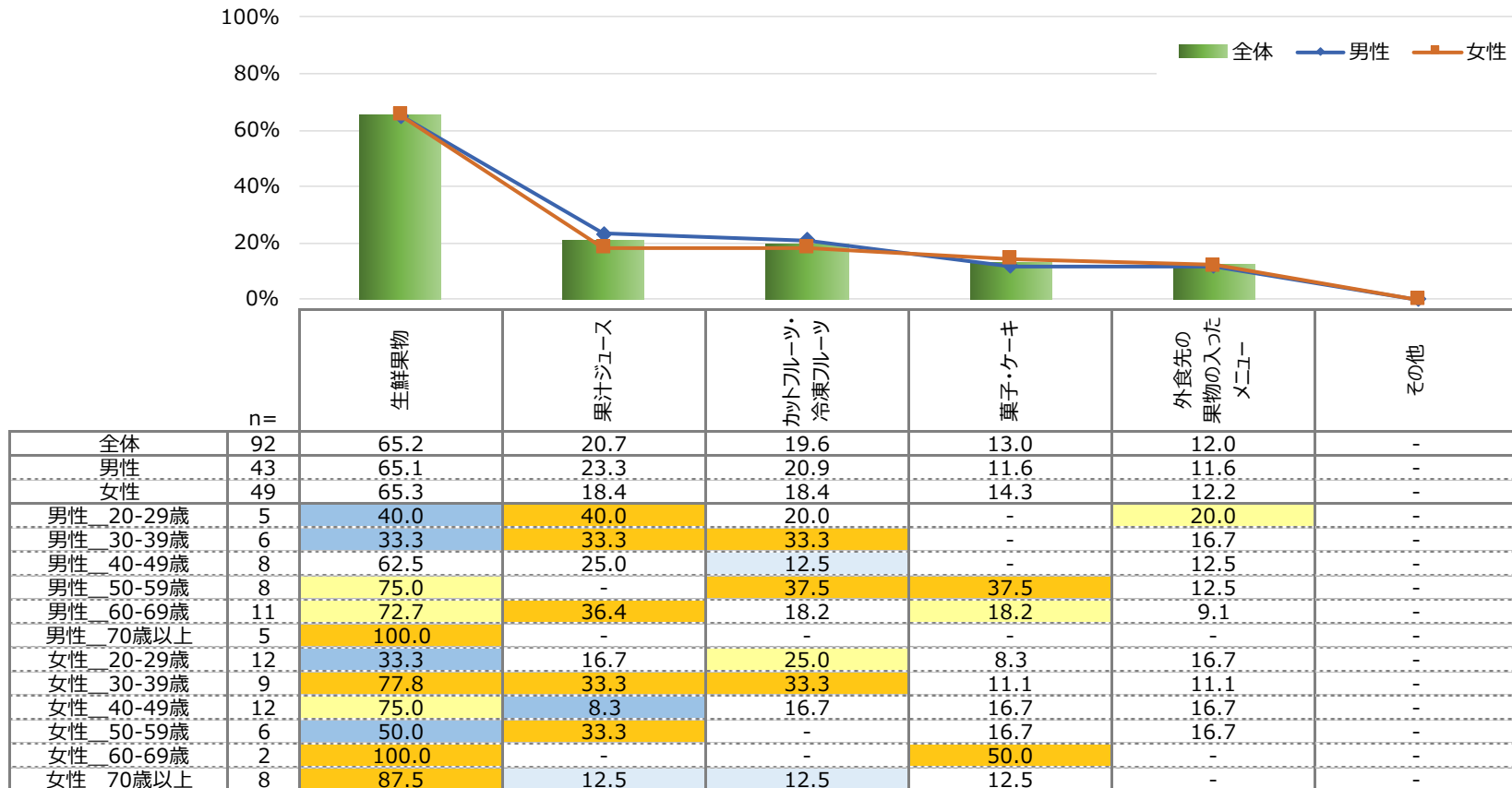
※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■)
-5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q15-3. 摂取が減った果物の形態（複数回答）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物の摂取が減少した人に摂取が減った果物の形態を聞いたところ、全体で「生鮮果物」が65%と最も多く、次いで「果汁ジュース」（約21%）、「カットフルーツ・冷凍フルーツ」（約20%）などが挙げられた。

※サンプル数が少ないので参考値

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取減少者のみ



Q15-3.現在、果物はどのような形態で摂取することが減りましたか。（複数回答可）

※全体比 +10pt以上(= ■) +5pt以上(= ■) -5pt以下(= ■) -10pt以下(= ■)

Q16. 果物に関する産地や小売業者等への要望・意見（自由回答）

- 果物に関する産地や小売業者等への要望・意見を聞いたところ、872人から回答があり、「価格」に関する内容が最も多く（約45%）、次いで「規格外品」（約15%）、「加工品（カット、冷凍、ドライ）」（約10%）、「国産果実」（約8%）、「小分け・ばら売り」（約5%）などについてであった。

主な項目	主な内容
価格について	果物全体、価格が高くなり過ぎ、高級品になったので、もう少し普段買しやすい価格のものも生産・販売してほしい / 価格がどんどん高騰してきているので昔のままの素朴な味のを安く食べたい / 産地の方には申し訳ないが、既に気軽に買にくい価格になってしまっている / フルーツサラダをよく作るようになったが価格が高すぎると思うので、安全で安心しておいしいものを提供してほしい / 日本は果物のブランド化をしすぎて、高すぎて買えなくなっている / 非常に美味しくなったが、値段が高すぎる / 日本は形、大きさ、とびぬけて美しすぎる、従って値段も高いので、見た目が悪くても安価な果物を沢山食べたい
規格外品について	生産者に対する感謝と食品を無駄なく生かすためにも規格外の物も品質に影響を及ぼさない限りにおいて市場に出してもらいたい / よく規格外の果物を買うが、おいしさは変わらないし、少し安くなるので、果物好きとしては助かっており、お店でもそういう物を増やしてほしいと思う / 国産の物で規格外の物でも販売して生産者の助けになるようにしてほしい / 表面など、見た目は上等产品でなくても、味、栄養分には全く影響ない物を別棚に陳列し、安価で提供し、食品ロスをなくしてほしい
加工品（カット、冷凍、ドライ）について	カットフルーツの種類を増やしてほしい / 少量のカットフルーツの詰め合わせがあれば手軽に食べられる / 日持ちのするカットフルーツがほしい / 皮をむくのが面倒なのでカットした状態で、ある程度長期保存できるような商品を開発してほしい / カットフルーツや冷凍フルーツの種類を増やしてほしい / 高価でもカットフルーツなら手を出しやすい / いつでも手軽に食べられる冷凍フルーツを増やしてほしい / 冷凍フルーツなら食品ロスの改善にもなるし、いつでも食べられるので利用したい / いろんなドライフルーツを作してほしい
国産果物について	農家の方々に応援したいので、国産のものを多く買いたい / 売り場コーナーに国産の果物をもっと並ぶようにしてほしい / 国産のわけあり商品などを置いてほしい / 見た目が悪くても国産の果物を安価で食べたい / 可能な範囲で国産の果物を多くしてほしい
小分け・ばら売りについて	色々なフルーツが食べたいので小分けでパックで売ってほしい / 家族が少なくなっているので1個ずつ買えるとか、カットフルーツを増やしてほしい / カットフルーツは何種類か混ぜてほしい / 食べきれないように小分けで販売してもらえると嬉しい（包装不要） / みかんなどは量を少なくして販売してほしい
その他	果物の特徴とか、美味しい食べ方とかが書かれたポップなどあれば嬉しい / 産地が分かるようにしてほしい / 甘み・酸味などは人それぞれ感じ方が違うと思うが、糖度計で〇〇等表示してもらえると一目瞭然なのでやってほしい / 果物全体やたら糖度にこだわっている気がするが、健康のことを思うと甘さは程々にしてほしい / 糖質制限でも食べられるように加工してほしい

Q16. 今後、産地や小売業者等に対して、果物に関するご希望やご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。